京城日報
四日夕刊
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
印刷人　小川三之介

○大海戰兩艦隊損害
獨逸艦隊の大損害

英國公報に曰く英艦隊の損害中驅逐艦の沈沒は八隻なり獨逸艦隊の損害はカイゼル級弩級軍艦一隻爆發沈沒し他の一戰鬪艦又沈沒せるものと信ぜらる又一戰鬪巡洋艦爆破せり戰鬪艦一隻操縱不能となり運轉を停止せり又他の戰鬪艦一隻大損害を被りたり其他輕巡洋艦一隻及び驅逐艦六隻沈沒し猶二隻の輕巡洋艦操縱不能となれり他の戰鬪艦三隻に砲彈屢々命中せるを見受けたり獨逸潜航艇一隻衝角にて突かれ沈沒せり(倫敦電報)

▲獨艦損害別報　倫敦來電に曰く和蘭に上陸せる獨艦乘組員の生存者は獨逸巡洋艦フローエンロップ及びエルビング(噸數不明)の二隻破壞沈沒せるを確證し瑞典汽船に救助せられたる獨逸水雷艇員の生存者は獨逸水雷艇の擊沈せられたるもの二十隻に達すと言ひ獨逸側の損失は甚だ大なり尚ほ漁夫の報ずる所に據れば二隻のツエツペリン飛行船も亦破壞せられたり(紐育電報)

○獨帝東部戰線視察
ヒンデンブルグ將軍を賞す

アムステルダム來電に曰く東部戰線視察の爲總司令部を訪問せる獨逸皇帝はヒンデンブルグ將軍の歡迎に對し答へて曰く吾人は優勢なる敵に對抗して特別の行爲盡力を爲さんが爲め再び協同事を執るの止むなきに至れり此の軍隊は隱忍以て善く常捷を支持し名譽の平和を獲得すべきを信ず余は卿が國家的英雄となり忘るべからざる功績に對し卿に感謝の意を表すと(倫敦電報)

○ヴラミー山頂の砲戰
ヘーグ將軍の公報

一日發表のヘーグ將軍の公報に曰くヴラミー山頂に於て各口徑の大砲を以て終日兩軍の間に不斷の大砲戰あり砲擊は折々猛烈となれり之れ二日の戰鬪中最も注目すべき點なり(紐育電報)

○獨宰相の媾和意見
媾和促進は各交戰國と直接談判にありと說く

アムステルダム來電に曰くミユニツヒよりの電報に據れば獨逸宰相ベートマンホルウエツヒ氏は食料統轄問題以上に媾和問題を協議し居れりミユニツヒにて新聞記者と會見の際宰相は聲明して曰く現在の歐洲戰爭地圖が媾和談判の基礎とならざる可らず媾和は成る可く各交戰國と直接に談判を爲すを以て媾和を進捗せしむる最良の策也と信ずと(紐育電報)

○又しても我兵に侮辱
岸大尉二中隊を率ひて謝罪を迫る

濟南來電に曰く一日支那兵は通行中の日本兵を毆打侮辱せしより岸大尉は直ちに二中隊を率ひて巡按使衙門に至り謝罪を爲さしめ同時に平和維持の見地より支那兵の離隔を交涉せりと(北京特電)

○四鄭線技師長

四鄭鐵道の技師長會計監督は契約に依り支那政府に於て日本人を指定し日本側の承諾を受けざる可らざるが各技師長には現滿鐵保線課員工學士藤根重吉氏任命の事に双方の意見纏り尚滿鐵より同鐵道從業員十餘名の轉任を見る筈なり(大連特電)

○吉長解約進捗

吉長線解約交涉は昨今頓に進捗し支那政府は我が管理權を承認し其の他の細目も近く成立すべく經過良好なり右に就き北京出張中の川上滿鐵理事は不日歸社すべし(大連特電)

○五月手形交換高

五月中京城組合銀行の手形交換高は二萬三千八百十二枚其の金額四百八十九萬三千百圓に上り枚數金額共に珍らしき多數を示したるが之れを前月に比すれば約八千五百枚百八十萬圓の大增加となり前年同月に比するも七千八百枚二百十二萬圓の激增を示し居れり尚ほ本年一月以降の累計手形交換高は十四萬二千二百六十三枚金額三千零二十四萬七百十六圓に達し居れりと

○安東大連天津航路

大連汽船會社にては安東縣、大連、天津の間に航路を開き一千三百噸の天潮丸、一千百噸の濟通丸を以て月六回航運をなし居れるが同線は朝鮮、滿洲、北支那を連絡する最捷徑の航路にして安東縣より大連まで十五時間、大連より天津まで二十五時間を要し而して其の賃金「安東大連間一等十圓、三等五圓、安東天津間一等二十五圓、三等十圓五錢とし大連に所要あるもの又は大連を經て天津に赴かんとするもの及び朝鮮を經由し大連より更に北支那方面其他に向ふものには便利なる航路なる可し(大連)

○青山島へ寄港

遞信局にては全南莞島郡青山島港が最近漁期に入り漁夫の出入頻繁を呈し且つ諸種の荷動きあるを以て朝鮮郵船會社に對し其の木浦麗水間航路及び釜山麗水間航路の定期船を發著せしむる事に命令したるが會社にては五月下旬より實行し同船にては便宜郵便事務をも取扱ふべしと

○振威郡農事獎勵會

京畿道農事獎勵會振威郡支會にては四日午前十時より支會總會を開會する筈にて京畿道よりは高見勸業技師出張講話を爲すべしと

○博物館觀覽者

五月中の總督府博物館觀覽人員を聞くに普通入場者は內地人七百九十一名朝鮮九百二十六名計一千七百十七名にして特別入場者は內地人六百七人外國人五十名總計二千三百七十四名なりと

木浦

▲五月貿易額　當港五月中貿易額は輸移出十九萬七千四百七十六圓輸移入十一萬七百圓計三十萬八千百七十六圓にして之を前月に比すれば輸移出一萬三千二百五十六圓輸移入一萬三千九圓の何れも減少なり▲木浦驛成績　五月中木浦驛營業成績を聞くに乘車人員三千六百九十八人降車人員三千五百四十七人計七千百七十七人入場人員千八百七十一人貨物發送六百二十七噸到着八百十六噸にして收入は客車收入四千五百圓九十五錢小荷物三百十六圓四十五錢入場料三十七圓四十二錢貨車收入二千七百圓八十一錢倉庫收入六十六圓六十三錢合計八千六百二十二圓二十六錢なりき

▲五月電報取扱高　木浦郵便局に於ける五月中電報取扱狀況は發信三千五百八十九通着信三千六百六十三通にして前月に比し發信は四十四通受信は二百二十六通の減少なりき

▲兒童學寮近況　木浦敎育會所屬兒童學寮の近況を聞くに目下在寮生十二名にして最下級は尋常二年最上級は高等一年內女生徒四名なるが設立以來數に於ては猶ほ足らざるも實際の成績に至りては頗る良好にして和氣靄々として一家族を爲し長幼敬愛して學業に精勵せる狀況は殆んど理想に近きものありと▲衛生區長總會　木浦衛生組合にては一日午後四時より公會堂に於て正副組長の總會を開き衛生組長より大正四年度中の決算報告あり現在の十二區は廣きに失するを以て舊規定通り十八區に分つに決し後林警察署長より一場の訓示ありたり▲區長慰勞宴　衛生區長慰勞宴は既報の通り一日午後七時より東雲樓にて開催非常の盛會なりし▲麥作實收豫想　本年本道內麥作實收豫想は大麥九十九萬三千石、小麥十萬二千石にして昨年の實收大麥六十九萬八千四百七十五石小麥九萬九千二百廿四石に比すれば大麥は六分五厘小麥は三分三厘の各增收なりと▲木村會頭上京　當商業會議所會頭木村健夫氏は會議所新定款に依る當會議所の件に關し總督府に出頭せり▲商議員數　新定款認可申請の評議員數は十二名にして會員は內地人九十二名鮮人九名なるを以て其比例より內鮮人評議員數を定むるときは內地人十一名鮮人一名となる計算なれども尙も朝鮮人を評議員に加ふる以上僅に一名にては事故の場合其代表者を失ふ次第なれば會員數の比例に拘はらず特に二名とし內一名を役員中に加へ以て內鮮人機關たるの實を擧ぐべしとの內議あり多分斯く決定すべきかと▲扇海丸修繕　母船扇海丸は船底修繕及び定期檢査の爲め二日午前長崎へ向けたるが約二箇月を要すべしと▲弓削學務課長來木　總督府學務課長の同氏は光州より榮山浦羅州を經て三日來木の豫定▲森川支店長歸木　當地十八銀行支店長森川釼吉氏は支店長會議の爲め長崎本店へ出張中の處二日午後四時歸木せり

釜山

▲五月の穀物市場　釜山穀物市場五月中賣買出來及び平均相場左の如し

品目	出來高	最高	最低
中白米	六〇九個	一一、八六	一一、二八
玄米	五五、一八二	一一、二五	一〇、四〇
右の內日本米		一〇、四五	一〇、五五
日本糯上白米	一五	一七、〇〇	
同玄米	二〇	一五、三〇	
闘玄米	四	一三、五〇	
粉米	一三九	七、三〇	六、〇〇
大麥	一〇	四、八〇	
小麥	一五〇	九、四〇	八、〇〇
小豆	二六	一〇、二〇	一〇、〇〇
大豆	二四四四	八、一〇	六、五〇
綠豆	一	五、〇〇	
下大豆		四、〇〇	

合計五萬八千六百個にして四月中の四萬八千四百五十七個に比すれ一萬百四十三個の出來高增加を見たるは內地及び各地より精白米の注文入込たる結果各精米所の買込ありしに依るものにして他に原因としてなし又直段は前月より大體に弱持合の盛買出來せるを以て僅に二三十錢の上下を見たるのみなり▲道長官の巡視　既報の如く佐々木慶南道長官は金海水利組合竣工式に臨席の後五日午後來釜六日より朝鮮水產組合巡邏船江慶丸にて南沿岸地方の漁況視察をなす豫定なりと▲上野技手榮轉　朝鮮水產組合水產技手上野國太郎氏は今回慶尚南道水產課に榮轉し三日午後十一時發にて赴任せり

大邱

▲慶北金融業者　最近調査にかゝる慶北各地貸金業者人員二百六十九、資本金額百四十三萬五千七百十二圓大正四年度末貸金額七十九萬三千三百八十圓にして地方都市發展に伴ひ漸次增加の傾向あり今是を郡別に示せば左の如し(圓以下切捨)

郡	人員	資本額	貸付額
大邱	五〇	三六〇、五五〇	三一八、六〇九
達城	三	一、五〇〇	六、五〇〇
永川	五	五五、二〇〇	三〇、三七〇
慶州	四	一、八〇〇	一七、六五三
迎日	八	四〇四、五〇〇	八五、九一八
盈德	二〇	二〇、七〇〇	五、三五〇
漆谷	八	二八、六〇〇	七、八〇二
軍威	四	二、九五〇	四九六
義城	九	一〇、八〇〇	六、八三五
安東	一八	五〇、六〇〇	四三、九四〇
榮州	七	五、〇九八	三、五九一
英陽	五	一、六〇〇	三、三六二
青松	二三	一五、六〇〇	六、二五八
慶山	八	一五二、〇〇〇	九八、三〇三
清道	一六	七六、五八〇	五四、五〇三
高靈	七	六、九〇〇	六、二〇四
星州	七	二四、二〇〇	三一、二〇〇
金泉	一六	一三一、四〇五	二三、六〇二
善山	一四	一八、四〇〇	一四、八四三
尙州	一八	一六、六〇〇	一〇、九七二
醴泉	一〇	三一、五〇〇	一〇、五八〇
聞慶	九	二八、八〇〇	一三、七七〇
合計	二六九	一、四五五、七一三	七九一、三八〇

大田

▲蠶繭初荷　本月一日岡谷製絲會社大田出張所に於て本年繭七貫目餘の初手合ありたるが價格は初めての手合せの事故比較的高價に買入れたるも普通四圓平均なるべしと▲組合會議　大田學校組合にては二日午前十時組合議員を召集し起債中訂正の件に付組合會開會の筈なりしが近時旅行者多數出席議員半數に滿たざるを以て流會となれり▲中隊巡視　緒方第七十九聯隊長は二日儎州に向け中隊巡視の爲め出發せしが四日一應歸田し五日再び出發の筈なるが歸田は本月二十二三日頃なるべし▲管理所長　朝鮮興業株式會社大田管理所長大內仁見氏は二箇月前より病氣引籠中なりしが事務打合せの必要を生じ二日東京本社に向け出發せり▲新築家屋　大田一般の景況は沈靜し居れりと喧傳せられ居るに拘らず先月中に家屋新築せられたるもの五十餘軒に及び是等は既に借家契約濟のものの由なれば隨つて人口も增加しつゝあり是れが原因は何等根據無きも或は近く大田驛附近改修鐵道工事を見込移居し來るものならんかと云へり

元山

▲立花將軍通過　五月中旬元山を通過し北方に向ひたる立花中將は咸興及び羅南の各聯隊に於て軍旗授與式を終り目下國境視察中なるが來る十日頃著元歸龍の豫定なる由▲奉贊會趣旨說明　明治神宮奉贊會獻金の件に就き既報の如く去る三十一日午前十時より府廳に於て委員會開催協議の結果豫定の通り來る七日までに各町內總代及び洞里長は各戶に就き獻金勸誘を行ふ事となりたるが更に來五日は午前十時より鮮人側有力者約五十名を府廳に召集し奉贊會の趣旨其他に關し村地委員長より詳しく說明を爲す可しと▲分監長叙勳　元山分監長從七位勳八等肥後盛至氏は定期叙勳に依り今回勳七等に叙し瑞寶章を賜はりたり▲鯛漁漸次盛況　過般來鯛漁の好況を呈するに從ひ昨今の鯛の漁獲高亦漸增を示し去る三十一日は約二百尾翌一日は午前中一千尾內外の水揚げを見たり相場は依然一尾四十錢內外なるが主として京城方面に輸送されつゝあり

咸興

▲明治神宮と咸南　明治神宮奉贊會に獻金すべき咸鏡南道に於ける總高は官吏及び婦人側より總べて四千圓民間側より四千圓合計約八千圓に達する見込にて目下府尹郡守を委員長とし獻金取扱の任に當らしめ事務取扱の任に當らしめ▲軍營工事と咸興　咸興軍營工事は目下諸般の準備中なるが之れを請負ひたる白川組に於ては工事監督員宿舍建築中の所十數間に涉る一棟は既に落成し他二棟は建築準備中にて來月上旬頃より土工に著手の筈なり而して軍營工事の起りし以來大工石工其他視察等の爲め來咸するもの日を追うて增加し宿舍の借入をなすもの多く爲めに附近鮮部落等に於ても尠からぬ家屋の不足を告げつゝあり▲輕鐵の市街引込　咸興西湖津間輕便鐵道咸興停車場は市街を距る數十町の所にありて荷物の輸送及び旅客往復上の不便尠らざるが故に近々大和町新道路城川江河岸に延長さるゝ筈にて目下炭礦會社に於て之れが準備中なるが工事の開始を見るは八月上旬頃なるべし年內には是非開通せしむる豫定なりと▲大神宮建築出願　咸興大神宮建築に就きては總督府神社令に基き內鮮人有志の內三十名の氏子決定の上出願手續を了すべく委員側に於て奔走中なるが一方神社建設に要する諸材料は既に全部到著し道廳倉庫內に保管中なりと云へば知樂亭に神威を拜し得るも近きにあるべし▲隊署長會議　咸興憲兵隊本部及び咸南警務部管內憲兵分隊長警察署長會議は來る十五日より一週間の豫定を以て警務部內會議室に於て催さる筈而して今回は憲兵分遣所長をも參加せしむべし

統營

▲赤愛委員部發會式　去る二十八日日本赤十字社朝鮮晉州支部統營委員部及び愛國婦人會統營委員部の發會式を公立小學校に於て擧行せり當日晉州支部長代甲斐支部副長並に織田事務委員其他來賓多數の臨席あり式辭祝辭朝鮮本部長等よりの祝電朗讀特別社員章の交付等あり靜粛の內に閉式式後宴會並に撲挺店の開催に餘興として角力夜は蓬萊座に於て婦人會の催しに係る婦人淑女の演藝會あり中々盛なりし目下當委員部には社員四百名會員九十名に垂なんとする由▲統營釜山間直航　久しく懸案中の同航海は近々實行せられ漁類の運搬上多大の便宜を得る事となれりと▲共立病院　今回鳴海醫學士を院長に井水醫學得業士及び總督府醫院卒業鮮人醫師二名を招聘し統營の共立病院を起す事となり本月一日其開院式を擧行せられたり

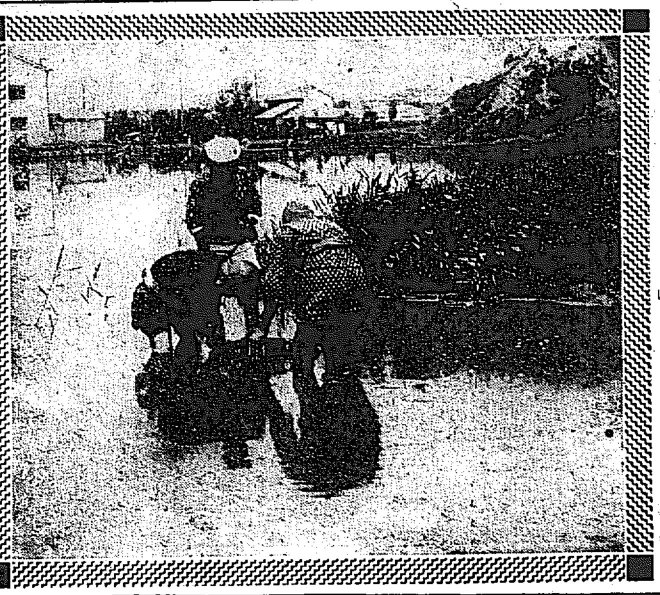
人事消息

▲今泉檢査官以下三名　四日朝仁川へ
▲富士英氏(支那總領事)　同上
▲兒玉秀雄伯(總務局長)　四日朝從事へ
▲大島副官　四日朝新義州へ
▲大井熊太郎氏　入京中の處三日夜退京
▲迫間房太郎氏(釜山商業會議所會頭)　入京中の處四日朝退京
▲木村健夫氏(木浦商業會議所會頭)　同上
▲本田幸介氏(水原模範場長)　同上
▲高橋寬親氏(釜山起業會社社長)　入京中の處四日夜退京の豫定
▲平田錦次郎氏(三井物產重役)　四日朝入京天眞樓へ

○タゴールの講演を聽く

此程來朝して神戶に滯在し須磨や御影に日本を自然に喜んだ印度の詩聖タゴール氏は一日夕大阪に著いた其の講演會は天王寺の公會堂で開催されるので定刻の七時には立錐の地なき迄に聽衆を以て充され等しく外來の此の聖者の謦咳に接せんとした、佐野甚之助氏のタゴール氏紹介演說が終つて夕氏が演壇に立つたのは丁度八時十五分、此の詩人哲學者の演說をするに相應しいとでも云はふか階下は一帶席を敷き聽衆は一同土下座して居た、夕氏は白色の法衣と海老茶色の帽を冠り白髯溫厚な容姿を見せて演壇に立ち左手に自ら草した英文の原稿を持ち右手で机を敲きつゝ極めて緩かな調子で讀み上げた其聲はさながら球を轉ばすやう其文はさながらの詩であつた、夕氏は云つた「私は日本の土地に初めて接して非常に驚いた事がある、私は今迄日本を誤解して居た、日本は世界の列強國間の競爭裡に處して行く強國だから日本から到底詩の味、詩の情調を發見する事は出來ないだらう殊に近く五十年前は鎖國主義を保つて來た國が斯くまで文化の進步發達を見たは只驚くの外はない、詩人には自然の土地が懷しい自然は私の滋養の糧である』と云つて劈頭日本を獎め自然の風致と稱した後更に語を轉じて印度佛敎の日本傳來に及び日本は佛敎の理想的の地であると述べた、而して語は更に進んで現代の文明を呪ふ言葉となつて行つた『內部生活に缺げた現今の人間はます〳〵其の假面を冠らんとし泥の上塗をするやうなもの』と精神的墮落を叫び最後に是から『眞の日本人』を研究したいと云つて壇を下り河口慧海師は夕氏の講演を解說した恰度終たのが九時すぎであつた(大阪支局記者)

六月五日より七日まで
三越の出張大賣出し
仁川宮町竹園館に於て
京城　三越呉服店
夏衣新柄
流行の浴衣地



「鯛がされた！」——蒼龍山——

名所から名所へ
平壌に於ける遊覽團
—盛なる歡迎賑やかな餘興—

□水色の裳を引いた美しい妓生連
臨時列車は素破らしい賑ひ

平壌遊覽客一千に垂んとする多人數を滿載した長蛇のやうな列車は三日夜十一時南大門驛を發車したプラットホームには樂隊の奏樂爆竹の響きが威勢よく見送り人の萬歳の聲も盛んであつた、汽車は

▽鎌の樣な三日月

の夜を龍山から北に向つてひた走りに走る車内の客は鮮人獣光團が全數の約七割を占め殘り三割方が内地客であつた、中にも一番先頭の客車には京城の青年銀行員が大部分を占め次は又數多の紳士商店員の人々もあつた鮮人側は上流の人々や銀行員などが最も多い、水色の裳を長く引いた五十幾人の妓生連が美しく見ゐた、殊に汽車は遠慮なしの臨時列車で大小の驛々にも寸時の停車もなく走り通すのだから其の

▽快速力心地よく

聞き京義線の夜を衝いて北へ〳〵と進んで行手には時々驛の篝り火がパット鬼火のやうに見ゐる許り時間の經つに連て車内の賑はいは亦格別であつたその内本社からは各會員に美しき草花の徽章を交付し朝鮮煙草會社からは「初日」の寄贈あり鐵道局からは美しい繪葉書時間表平壌案内印刷物を配りそれにお茶の御用にも應じたので乘客にはさしたる不自由もなかつた樣であつた鐵道局では亦諸般の取扱に萬々

▽遺漏なきを期し

數多のボーイから救護班迄用意されてあつたが何分千人近くの人員故切符の調べには二時すぎ迄かゝつたやうであつた兎角する裡列車が開城驛に著いて機關車のヘッドライト青白く驛の給水機迄照らしてゐた

□絶景を讃嘆せぬものは無い
遊覽團を喜ばせた餘興の數々

四日朝眼がさめると前夜から降し出した雨がからりとはれ窓の外には青い麥畑の海が開けて見ゐる赤い太陽が出たら一同が大喜び、平壌は近くなる其の内に車窓から大同を羊角とが見ゐると午前四十分列車は平壌に著いた

▽プラットホーム

に府廳の役員と有志多數が懇切の出迎に出て洗面所茶香場の用意も行届いて居た何分にも一時にドッと降り立つた事であるからプラットホームは一時肩摩轂撃の大混雜を呈したのであつた見渡せば色とり〴〵の大幟を押立て音樂隊を連れた朝鮮煙草の團隊や赤い道化服を著けた自轉車隊の出迎もあれば各商店始め

▽券番藝妓の出迎

へもありそれに鮮人側はお互に握手して健康を祝し合ふと云ふ光景で驛内の賑ひは一通りで無い、やがて各自腕車を驅り自動車トロックに乘り大同江の朝風に快き面を吹かれつゝ町から町へ名所から名所へと志したのであつた就中最も衆目を惹いたのはお牧の茶屋や浮碧樓あたりで彩旗飜へる

▽天幕張りの下には

行樂の人達が酒を酌んでゐた、乙密臺上の四虚樓あたりは後から後からと見物客が長く〳〵つゞいて行つた殊に牡丹臺の絶頂から脚下に横はる大江の流れを始め對岸の廣き平野を瞰下ろせばカッポウ鳥ないて青嵐さつと吹き渡るなど實に天下の絶景である事を嘆稱せぬものは無いお午頃から

▽愈々人の出盛り

と爲つたお牧の茶屋附近は自動車が二臺絶ゑ間無く江岸をかける大同江には又一妓生を乘せた朝鮮舟がゆるく流れる午後一時からはお牧の茶屋一帶で日本藝妓、朝鮮藝妓の舞踊たから探しなどの餘興が始まる三時からは工藤長官始め平壌官民有志數百名の觀迎會が始まる七時から又は落花と競する燈籠流しが始まる牡丹臺下は今正に遊覽客を以て充されて居る（四日正午平壌電話）

七百浬の漂流
南極探險家シャックルトン氏 フォークランド島に安著

クロニクルは南極探險家シャックルトン氏が南米フォークランド島スタンレー港より送りし報告を發表し曰く「予は漸く當地に到著せり我等一行はウエデル海の中央にて最早氣根盡き七百浬漂流し漸くエレファント島に上陸するを得たり後予は南ヂョーヂアに赴けり」とシャックルトン氏の第一回南極探險は一九零七年より同九年にかけてであつた、當時は極地を距る

▽九十浬まで

進んだが、一昨年又第二回探險の途に上つた、今度は前とは途を變へて南米の南端を南へ南へと進みウエデル海から上陸して南極に志た、南極に到達した後は更に反對の側に進み即ち南極を横斷してロッス海を經て歸來する筈であつた而して昨年一月セントヂョーヂアからの

▽最後の通信に

よれば、天氣の具合が惡くて一年間位は採檢は出來まいと云ふ事で其後の消息が絶ゑた、其間にシャックルトン氏が南極を横斷して出て來れば直に收容して歸英すべくロッス海の方に待つてゐた探檢船オーロラ號は氷の爲に押流されて陸地を離れ折柄上陸してゐた四人の

▽隨員が俟寬と

同樣の島流しとなり、然も十月までは再び陸地に近づく事が出來ないなど云ふ椿事が迦つたので、シャ氏の安否も愈々心許なく、英國側では救援隊を派遣しようかと相談してゐた際、最初出發したホオークランド島に歸著した報道があつた譯である、之によつて見るにシャ氏が

▽今回の探險に

よつて果して極地に達し得たか否かは尚ほ不明であるが兎に角目的通りに南極を横斷する事の出來なかつたものと想像される

英國皇太子と伊國皇女と婚約成る

英國皇太子と伊國第一皇女ヨランダ殿下と婚約成り近々發表さるゝ旨傳へらる皇太子は數週間前羅馬を訪問し伊國戰線を視察されたり（紐育特電）

臺灣暑氣酷し

臺灣嘉義地方に於ては數日來氣溫遽かに上昇し二日の如きは最高百度に上りたる場所もありて夜中に入るも亦九十度内外を保ち人々就寢し能はざる激温にして本年の暑氣は例年より早しと（臺灣特電）

□平壌名物
蕎麥と妓生と鯛
—遊覽團員の觀た平壌—

□行來の夜汽車には京仁間あらゆる階級の人々があつたが別けて今春東京美術學校を優等で卒業した金君は郷里が平壌だけに知々夜も眠れず動搖する汽車の中で其の日のスケッチに餘念がなかつた

□或平壌通曰く由來平壌の名物は蕎麥と妓生と鯛である蕎麥は朝鮮の所謂麵家に行けば喰へるし妓生は亦何時でも居るがたゞ鯛ばかりはまだ出盛りではあるまい

□乙密臺の四虚樓から牡丹臺や玄武門を見た三十歳前後の若い人達は何れも皆小學校時代に日清戰爭談を聞かされた人々ばかりで原田重吉も馬玉昆それも皆お馴染であつた

□七星門に立つた京城の若い男曰く大同江を髣手古な船が行く舳と艫が反かへり一本のオールに二人宛かゝつて四人でこぐ、舟が荷物をつんでゆらり〳〵と動いて行くと

□平壌の町と云ふ町を京日と每申の旗をかゝげた自動車と歡迎旗を背いた車とが走り廻つて居た

▲遊覽團はお互に徽章の造花で見知合になり方々で出會ては『又逢ひましたネ——』と挨拶して行くのも愛嬌であつた

航程一萬浬
大成丸遠洋航海の途に就く

商船學校練習船大成丸は生徒百二名を乘組ましめ遠洋航海の途に就くべく一日午後三時品川より横濱に入港し盛んなる見送りを受け三日正午出帆してサンピトロに直航し歸航したるが航程は一萬浬なりと出帆當日は遞信次官、管船局長、校長等臨船し一場の訓辭を爲したり（東京特電）

七疋の狢木葉を冠て踊る

慶北達城郡瑜珈面琴洞居住の農金洙（三八）は去る一日同地消災寺の下方に於て草刈中附近の岩根に何れよりか一頭の親狢が六疋の仔狢を連れ現はれ出で木の葉を冠つて踊り廻はり居るより直ちにこれを捕獲せんとしたるが親狢は何れにか逃げ去りしも六疋の仔狢は生擒したり生擒したる仔狢は玄風巡査駐在所にて一疋を飼養し他の五疋は大邱警察署に送り同署にて目下飼養し居れるが未だ產まれて間もなきものゝ如く毛色は黑なり

綽名は木鼠小僧

去る二日午前十一時頃大邱西門市場に怪しき鮮人が梨を噛りつゝ場内此處彼處を鳥瞰附きゐたるが折柄通り合せたる大邱警察署の刑事が怪しみ本署に引致し取調べたる結果此者は光陽郡生れの徐時宅事徐鳳守（二七）といひ昨年四月竊盜を働き光州地方法院にて懲役四箇月に處せられたるものなるが同人は木鼠といふ綽名を有し十日前慶南晋州邑内内地人某方及び同地活動寫眞館にて觀客の懷中せる金品を掏取たるを手初めに同地及び大邱にて實に三十五圓掏兒を行ひ掏取れる金にて衣服を買ひ又酒食に費し現金六圓二十錢を所持し居れる事判明し留置され嚴重取調中

憂きは初旅
三少年の渡鮮

京都市下京區清水三丁目勝田勝吉次男逸郎（一七）同諏訪宇一（一五）同山田五郎の三人は共に京都市立陶磁器試驗場附屬傳習所の生徒なるが去月末兵庫縣須磨方面に修學旅行に出でたる際三人は無分別にも空想に驅られて渡鮮を思ひ立ち五郎が二十圓餘を所持したるを幸ひ其の足にて神戸より汽船神代丸に乘り込み二日朝釜山に入港上陸したる後終日市内を見物したるも間も無く旅費缺乏し奉公口も見付からず三人共初旅の事とて大に心細くなり同夜釜山署に出頭して保護を願ひ出でたれば目下釜山署にて保護を加へ原籍地へ照會中なりと

學生帽の強盜

全北金州郡伊西面粉土洞韓明先方に去月二十九日午前二時頃學生帽を冠りたる三名の強盜押し入り家人を脅迫の上米五升外數點を強奪し逃亡せるが同夜又た同郡雨林面三山里朱京夏方にも學生帽を冠りたる三名の強盜押入り家人を脅迫の末廣木外十數點を強奪し逃走せるが犯人は韓明先方を襲ひたるものと同一なるべく目下其の筋に於て犯人嚴探中なりと

井戸へ眞逆樣

京城膿洞五十八番地玄榮三女玄聖蘭（九）は四日午前八時頃自宅裏の井戸に眞逆樣に陷り死亡し居たるを九時頃に至りて發見したるを以て直ちに鍾路署の檢視を受けたり

竹添町の朝火事

四日午前八時三十分頃京城竹添町一丁目フレーザー商會風呂場焚火の跡始末不完全なりし爲め出火し煉瓦建一棟を半燒したるが報に接し京城各消防隊及び鍾路署員は直ちに現場に馳せ付け消防に盡力したる爲め同九時二十分頃全く鎮火したるが損害は三百圓內外なりと云ふ

縛り上て嚇す
犯人逮捕さる

慶北慶州郡內面西面望星里居住の權宜仲（三八）は去月十五日午前二時頃同地權幸九（三三）方に闖入したるが折り柄は不在にして妻李紫玉が一人就寢しゐたるより同女の寢室に入り呼び起し所持したる麻繩にて同女を縛し聲を發すれば絞殺すべしと脅し在金提供を迫まりたるも同女はこれに應せざりしより彼は室內を搜查し現金七十六圓を強奪して逃走したりこの急報に接したる同地警察署は犯人搜查を行ひしも遂に判明せず引續き搜查中の處數日前逮捕して目下嚴重取調中なり

庭球戰の盛況
鐵道對京城倶樂部試合

四日午前九時より龍山鐵道倶樂部下に於て開催の筈なりし鐵道倶樂部對京城庭球倶樂部の庭球試合は定刻より約二時間遲れて開始し頗る盛況を呈したるが夕刊締切迄には勝負の結果を報ずる事能はざりき

鍾路署の身體檢查

鍾路警察署にては二日管內に於ける旅館、下宿屋、飲食店、料理屋、妓生置屋等の使用人に就き身體檢查を爲したる結果傳染性病者三十名を本署に召致し治療に關する講話を爲したるが其內重患者五名に對して休業治療を爲さしめたり

慶興丸船長辭職

失行の爲め一箇月間船長免狀停止を宣告されし前朝鮮郵船慶興丸船長田中常信は會社に對し辭表を提出せりと

困つて自殺

三十日午後四時頃濟州島道內五林里生れ姜鳳根（三三）なる鮮人釜山本町五丁目米國醫師アービン氏門前石垣前にて刄物を以て咽喉を突き苦悶し居るを通りの者發見し本署に通告せしかば本署より係官出張し檢視せしに長さ八センチ深さ氣管の外壁に達する負傷を負ひ居るも生命に關する程の傷に非ざれば應急手當の上行路病者として府吏員に引渡せり原因は衣食に窮し世を果なみて自殺を企てたるものなりと

京城監獄武術大會

四日午後一時より京城監獄署に於て武術大會を擧行し各警察署憲兵隊及び監獄署より劍客柔道家出席し入京中の各道典獄も參觀せりと

眞理の味

三日の夜八時頃編輯小僧の卓上電話のベルが一ときわけたゝましく鳴つた、早速受話器を取つて聞くと「吾輩の名は言はんが和歌を一首詠んだから知らせてやるイヽかい

平凡の歌にしあれど眞理をば
　含むところに味がある哉

はどうだねアハヽヽ、左樣なら」と電話をきつてしまつた、狐に魅まれた樣な編輯小僧は一體何者なるかと早速得意の探訪術で調べ上げて見ると南山町〇丁目の〇〇と言ふお醫者樣であつた事が知れたので直ぐ樣電話で

平凡が含む眞理の味か
　米のまんまは食ひあきもせず

と返歌したところ件の醫者樣折角名前を隱して居たのに知られては大恐縮ドウか內々で濟してくれとの御嘆願依つて御名前だけは預かつて如件

スミス氏東京で夜間飛行

……の花環に埋まれてスミス氏は恰も凱旋將軍……車の……を以て下車したが東京飛……の三日……別飛行は既報の如く本月三、四、五……

晴後曇り　六月五日

保險金受領廣告
夫川上粲次郎儀兼て東洋生命保險會社ニ保險契約中の處今回死亡に付金壹千圓也仁川代理店高杉昇殿の手を經て正に受領致候間此段廣告候也
大正五年六月四日
仁川龍洞　川上キク

明治神宮地鎭祭御供米精白御用
御即位式御齋田米精白御用
陸軍御用　金牌受領

精米精麥は唐箕附に限る
絶對無比の實力と信用とを有し幾多の精米機中全く其類例を見ざる
唐箕附 グランド精米麥機
唐箕附 ナショナル精米麥機
を御採用ありて事業の成功を期せられむ事を
（説明書無代進呈）
製造販賣元　東京淺草區諏訪町廿番地　精工商店　特長電話下谷二七〇七番
特約販賣店　朝鮮京城永樂町二丁目　吉田丸助　電話一八七一番

小兒科 內科　京城吉野町（元仲ノ新地遊廓跡）
特に 呼吸器胃腸腎臟病 腺病胎毒小兒眼疾
入院隨意　雨森醫院

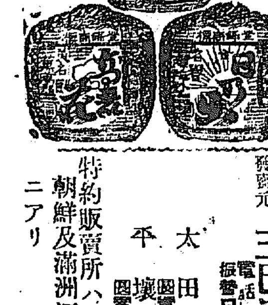
帝國大學病院　赤十字社病院
陸海軍各病院　公私立各病院
御採用品

消化新薬 柏木ヂアスターゼ

糖化力最強にして效力常に一定す
發賣元　大阪道修町三 田邊五兵衛　大阪平野町二 岸田市兵衛　東京本町四 田邊元三郎

內科 小兒科 外科 花柳病 診察
自午前八時至午後九時
西小門町舊醫院跡（電話一三一五）
高井醫院分院
院長正六位勳四等 高井貞治
副院長千葉醫學士 松崎正玄

陸軍御用達
優等清酒



京城蓬萊町　釀造發賣元　三巴酒造場　電話一〇六七番　振替口座六一八番
太田支店　電話一二五番
平壤支店　電話五一一番
特約販賣所ハ朝鮮及滿洲樞要ノ地ニアリ

鐵ト浪平板
京城府南大門通り三丁目
直輸入卸商　（天）福田又京城支店
電話一二二番　振替京城二九二番
●毎月商報發行致居り候條御一報次第御郵送可申上候

所に飛行の冒險飛行を行つたスミス氏は去月三十日夜八時半東京驛著で入京した各地から贈呈された記念……直に同氏の歡迎に……人に擁せられつゝ豆自動車を驅つて帝國ホテルに入つた、同氏の帝都飛……主催と爲る同氏が本邦航空界を覺醒……

◉お米の喰方の改良問題

▽一にはまた　▽お國のため

回日本人のお米の喰べ方は餘り簡單で變化に乏しいといふ說が此頃料理通の間にお時に上ります

回これに對してまた『イヤそうではない簡單な樣ではあるが御飯にあるいふにいはれぬ風味といふものはなまなかの味つけなどは及びもつかぬものである』といふ反對說も有ます

回人樣々の趣味、嗜好といふものがありますから孰れが何うと申すことは出來ませんが簡單であるといふも事實であればまた御飯のいふにいはれぬ風味といふものも其通りであります

回此の樣な詮議はお預りとして實際にお米の味に調理の上から變化を與へるといふ事は甚だ趣味ある問題であります

回この調理法について朝鮮ホテルの猪原支配人は色々な研究をなされていらつしやいます一寸伺つた所に依ればザット三百種位の變化が出來ると申すことでありますが近い內に其發表をなさるそうです

回これは味ひの上からばかりでなく將來日本のお米の產額が增ねて益々外國までも盛んに輸出する事になりました時に色々な喰方を研究して置きましたならば輸出して賣捌く上にどれ程有利であるかも分りませんこれも大切なお國のお爲めでありませう(雲國女史)

◉外國語の御稽古

□熱心な京城の奧樣方

此頃日某西洋人のお宅にお茶に招かれて集まつた日本婦人方のお話の中に近頃主人の交際する範圍が段々と廣くなつて自然外國の方ともお交際する樣になると外國語の必要を一層痛切に感ずる樣になり男の方で相常な位置にある方も外國語を學ぶ者が多い樣でありますが婦人方も可成研究なさる方が多くなりました現に關屋學務局長夫人、菱田通譯官夫人、松本辯護士夫人、石原事務官夫人等は最も熱心な方々で居らつしやいます

學校新聞

……朝起きの得……

朝早く起ると啻に身體が丈夫になるばかりでなく仕事をすることに於ても餘程得になることが多い例へば每朝六時に起る者は七時に起る者に較ぶれば、僅かに一時間の差ではあるが、五十年間には一萬八千二百五十時間で二年一箇月餘長生したことになつて、それ丈多くの仕事が出來ることになる、何んと朝起きは一生の得ではありませんか。‖日の出小學校‖

◉吉田氏の追善寄附　朝鮮吉田事務官は五月上旬母堂が郷里栃木縣の寒北部佐野町で亡くなられました爲め同地の小學校圖書館に一百圓の寄附をなさいました

□八さんの投網(1)　めちや吉

八サンへ投網打ちの名人だと自分で云つて居る、成程亦さうな魚籃を提げて凱旋して來る事も有る、偶にば鍋の代りに浪怜石が魚籃に潜んで居る事もあるけれど、投網のいゝ日には、漢江の魚を一人で捕つて來た樣な大い顔をして、少しでも知つた人なら聽者の殺さんでも、顔野顔でも誰でも敵手嫌はず『今日はッ』と帝座一番、自分の存在を明かに、自分の技倆の卓拔なのを取り敢へず廣告に及んでおく

婦人界消息

△金香雪子(金東完氏夫人)　東京の姉穎永眠の報に接し四日內地へ出發なさいました

△松本菊江子(松本雅太郎氏夫人)　總督府醫院にて手術をされましたが此程全快して退院せられました

△井上八重子(井上善兵衛氏夫人)　此程歸京主人と共に東京より歸られました

△入江暢子(入江海平氏夫人)　同上

神社と教會とお寺

▲妙心寺(川端長沙洞)　五日より向五日間每夜七時より十時迄例月の如く接心の會が行はれる

▲本願寺別院(南山)　四日午後八時より信仰の活躍及佛教の地と題する說教あり梁瀨監督の……

▲開教院(大和町)　四日午後八時より日曜說教

▲京城基督教會(南米倉町)　四日午後八時より山本牧師の『基督の敎とは何ぞや』說教

▲日本基督教會(龍山)　四日午後八時半より伊藤牧師の說教

▲日本基督教會(長谷川町)　四日午後八時より井口牧師の『神の啓示』の說教

―△會いろ〱▽―

○子供の敎會　四日午前九時より大和町開敎院にて開會十時半終了

○花の祭り　京城基督敎會にては來る十一日の日曜日に擧行

○婦人會聖書研究會　七日午後二時より長谷川町日本基督敎會にて開催

回美味い苺　夏蜜柑の實をほごしバナナを三分位の輪に切り苺を鹽水でさつと洗ひ右三品を皿に入れ上より白砂糖と葡萄酒をたたつぷりにかけ三十分ほどおき混ぜて食べる

番茶のあと

◆花の頃以來日曜といふ日曜は五六回雨か風か穩かな日和はありませんでしたが今日は近來に珍らしいよい日曜でありました◆朝鮮婦人の服裝が好いといふ事は十人が八人までは異論がありませんが殊に此頃朝鮮の壁に沿ふポプラ並木の下などを楚々として行く所などは全く繪を見る樣な感があります◆また履物が風雅なのも服裝に調和して趣を添へて居ります◆此頃鍾路の裡通から景福宮邊にかけて內地人が澤山朝鮮家屋に住む樣になりました買物も何不自由はなく却つて住み心地がよいといひます

回ローン!といふ高い響きから　幽かな餘韻に消ゆる時

□□嘗て覺ねぬ嬉しさで込み上げました□□

◇去る五月廿八日母校の彈奏會で其の妙技を試みられたピアニストの久野久子女史が再び樂界に復活された事は何よりもうれしい便りでございました

◇女史は昨年の一月赤阪溜池の停留所で自動車の爲めに負傷されて一時は其の生命さへ疑はれた程でしたが漸く全快されたとは我樂界の爲めにも洵に幸福なことでございます

◇女史のお宅は音樂學校のスグ後ろ、まだ木の香の失せぬ二階建の家がそれであります客間には快よい新緣を通じて絕えず音樂學校のヴヰオリンの音やピアノの音が幾く高く聞ねて來ます◇女史を訪うた人のはなしによりますと此の頃の女史は最早や負傷前のやうに美しくなつて白い顔にはホンノリと紅味を帶びた女らしさに左頰には深い靨が可愛らしく見ねますそしておよろこびの人に對し次の通り語られました

◇『怪我をして廿日目でしたフト心附いてあたりを見ますと嘗て知らない人や看護婦が私を取り卷いて居るのです、私はどうして怪我をして此處へ伴れられたかと思ひまして皆さんに聞きましたが皆さんは唯だ默つて笑つて居らつしやるのです……

◇六月の十二日でしたが私は始めて病院を出て宅へ歸りました、永い間の病院生活の間にもモウ私は再びピアノの前に立つことが能きないのだらうか◇イヤ〱たつた一度でもよい、手を觸れて見たいと思ひ詰めました、宅へ歸ると蹶ばひながら思ひ切つて思ひつめた一彈をピアノに投げて見ました

◇ローン!!といふ高い響きから幽かな餘韻に消ね行くまでジッと聞いて居ましたが、ア、矢張り私は今日からピアノの前に立つことが能きるのだと思つた時嘗て覺ねぬ嬉しさが込み上げました……』と女史のためにも音樂界のためにも悅ばしいことでございます。

演藝案內

黃金館　黄金町四丁目　電話二六三七　大松色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店
六月四日より差替の大寫眞　○實寫ロスアンゼルスに於ける……○米國ヴァイタグラフ會社大傑作……○泰西探偵劇白い手原名(何?)全三卷　○新派大悲劇湖全三卷……

浪花館　明治町　電話二六〇番
今晩の讀物　△二人探偵(瓢之助)△湖田主水(如月)△瀨川五郎藏(雲照)△水戶黃門記(兎月)△金鶏動章探偵苦心談(長講二席京山恭爲)△大石の生立(桃中軒如雲)
●入場料は破天荒極りなき亦とこんな値段で聞けぬ一等二十錢二等十五錢每夜正六時開演

●●●●●●●●
御禮と御斷り申上候
眞田漫遊記　上場以來未曾有の大好評連夜の滿員御禮申上候殊に昨夜の如きは開館一時間餘にして札止めとさへ相成折角御來場賜はり候にも不拘御斷り致候段平に御用捨被下度候
眞田大助　に免じ御跡四日間發場何卒御見落しなく京城の程奉希上候　陸續御來館　京城大人氣の焦點たる　**大正館**

御成座　御成町　電話二一九一　市川海老松　阪東龜鶴一座
四日五日晝日間　狂言　忠臣藏　十二場……

大正館　櫻井町　電話八七三
六月一日より特別大興行……○探偵大活劇黑衣組　全三卷六千尺……◉史劇眞田大助漫遊記……

壽座　本町　電話五七八
八月四日(四日目)一番組……御名殘り興行明五日より上場……

店員見習至急入用　年拾五六歲迄　▲夜間商業補習學校へ通學せしむ▼　仁川山手町二丁目　電話九〇〇番　**三共社**

電話二八六一番　開通　京城南大門通二丁目九十二番地(黄金町筋北へ入西側)　京城石材共同販賣所

夏(ナツ)ノ胃(イ)

夏の氣候は自然と人の胃を弱らし筋肉が弛んで兎角食物が進まず身體が倦怠なる平素より胃の弱い者は尙更である夏に水アタリ、食アタリ、コレラ赤痢、暑氣アタリ、腸チブス、等胃腹に關する病の多いのは、其適例である。歐米に於て專ら行はるゝ民間治療法とは佐多博士の言はるゝ通り夏季に於て家每に常に(胃活の如き)健胃劑を貯へて置て時々服用するは勿論發病の際直ぐ手輕に治療することである

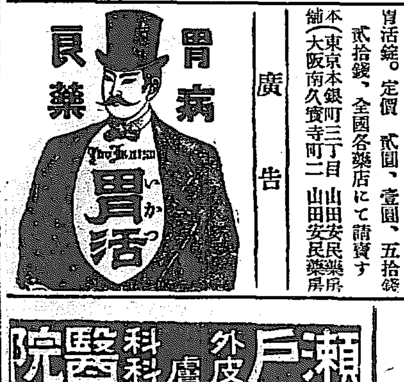
强壯なる胃液の殺菌力はコレラの黴菌でも殺す力がある事は醫學者の定說である故に胃を强壯にして疾病に抵抗する事は夏に於て特更必要である

(一)胃活は重曹主劑にあらず
(二)胃活は一時的の消化藥にあらず
(三)胃活は口中藥にあらず
(四)胃活は容量の大なる藥にあらず
(五)藥は必ず思い立たる時買玉へ

胃活。定價　壹圓、六拾五錢、四拾五錢、貳拾五錢、拾錢
胃活錠。定價　貳圓、壹圓、五拾錢、貳拾錢、全國各藥店にて請賣す

本舖(東京本銀町三丁目　大阪南久寶寺町二　山田安民藥房

廣告



商業登記公告

一大阪府東成郡鶴橋村字猪飼野五百七拾貳番屋敷福本元之助ハ大正五年五月貳拾日東洋拓殖株式會社監事ニ當選就任シタリ
一商號徳興泰、營業ノ種類海産物委託販賣、營業ノ場所京城府蓬萊町壹丁目百貳拾九番地、商號使用者ノ氏名住所京城府通洞拾番地宋星鎭
支配人選任　支配人ノ氏名住所京城府蓬萊町壹丁目百貳拾九番地宋聲玉、主人ノ氏名住所京城府通洞拾番地宋星鎭、支配人ヲ置キタル場所京城府蓬萊町壹丁目
右大正五年六月參日登記

京城地方法院

商業登記公告

一不二興業株式會社ハ大正五年五月拾日各株ニ付金五圓拂込ヲ了シ各株ニ付拂込タル株金額ヲ金九拾五圓ト變更シタリ
一城府松峴洞四拾番地…支配人ノ氏名住所京城府南大門通壹丁目拾四番地…支配人ヲ置キタル場所京畿道高陽郡龍江面東幕…
右大正五年五月參拾壹日登記
一主人株式會社漢城銀行ハ大正五年五月貳拾四日支配人韓翼教ヲ解任シタリ
一城府嘉會洞百七拾貳番地韓翼教、主人ノ氏名住所京城府南大門通壹丁目拾四番地株式會社漢城銀行、支配人ヲ置キタル場所主人ノ住所ニ同シ
一合資會社萬泰商會無限責任社員西川萬次郎ハ大正五年五月貳拾九日更ニ金五千圓ヲ出資シ其出資額ヲ金八千圓ニ有限責任社員小林源六ハ更ニ金壹萬貳千五百圓ヲ出資シ其出資額ヲ金貳萬壹千五百圓ニ有限責任社員吉田芳太郎ハ更ニ金壹萬貳千五百圓ヲ出資シ其出資額ヲ金貳萬壹千五百圓ニ有限責任社員小林元三郎ハ更ニ金貳千五百圓ヲ出資シ其出資額ヲ金六千圓ニ有限責任社員吉田太四郎ハ更ニ金參千圓ヲ出資シ其出資額ヲ金六千圓ニ變更シタリ
右大正五年六月壹日登記
一支配人ノ選任　支配人ノ氏名住所京城府本町四丁目百參拾壹番地谷貞七、主人ノ氏名住所高知縣安藝郡安藝町貳百九拾五番地松村繁太郎、支配人ヲ置キタル場所支配人ノ住所ニ同シ
右大正五年六月貳日登記

京城地方法院

發明品賣店募集

本會社は既往發明品と日々現出する內外各種特許品及新雜貨を弘く全國郡市町村に販賣する爲取引便宜上各地を設置す本業或は副業として尤も確實有利の事業なれば希望者は郵券三錢封入申込あれば規則書送附す
▲特許品賣込方便宜取扱申候▼
東京市京橋區木挽町一丁目十三
日本發明株式會社　電話京橋三一三九番　振替東京七一二七〇番

外科 皮膚科 瀨戶醫院

旭町二丁目(舊三丁目)
醫學士　瀨戶潔
(電話二四九八番)
診察夜九時まで

發明界の權威!!　夏帽界の霸王!!

東洋パナマ

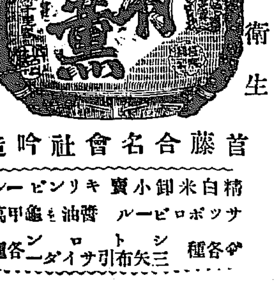
僞物多し帽子裏の商標に御注意

東京府下大井町
日本夏帽會社

內科 小兒科 中島醫院

入院隨意　京城明治町(元善隣學校隣)　院長 中島貞信　電話三七八番

無双醇良清酒



無害衞生　品質無双
首藤合名會社吟造
精白米御小賣キリンビール　サッポロビール　醬油を亀甲萬　各種シトロンサイダー三矢布引　各種
朝鮮發賣元　首藤京城支店　黄金町(電話一一七一番)

賣却廣告　鑛山用其他

一架空索道(ケーブルカー)　延長壹哩
(內譯概要)
ロープ、ラングレー式(壹吋徑)　壹萬呎
支柱、鐵塔　拾四基
停車場起點原動裝置　壹ケ所
終點伸縮裝置　壹ケ所
搬器(バケット)　四拾五組
使用期間約拾ケ月　附屬品付全部完全
右格安に賣却致度御希望の方は御申越相成度
東京府王子　東洋ランル合資會社金物部　電話王子局五番　略(トオヨ)

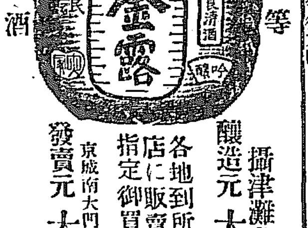
醫化學諸器械一式

Ⓚ
仁川本町　北島藥店　電話三三四・振替京城六七番
京城本町永樂町角　北島藥店京城支店　電話北六一番

藥種賣藥卸商

內科外科　小兒科　產婦人科
京城本町三丁目　今村醫院
診察午前九時より午後九時まで
院主 今村善一　電話一八三一番

富味豊品質卓絶
優等清酒



攝津灘魚崎　釀造元 大塚釀造所
各地到所信用ある食料品店に販賣せり金露印と御指定御買上被下度候
京城南大門通二丁目　發賣元 大塚京城支店　電話四〇一番　振替口座五〇七〇番

宮本武藏

第五十九回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

森大内記殿の御前に於て宮本吉岡の立合があるといふので高木右馬之助名古屋山三、不破伴左衛門名代の森三勇士の面々、之等を初め家中一同綺羅星の如く居並んで見物いたす、宮本は吉岡と手合せをしたいから態々京都へ往つた位ゐ、其が生憎不在といふので殘念に思つて居た所隨らず此所に於て對面いたしたのであるから大いに喜んで御前を立ち庭前へ立出で、武「エ、吉岡先生初めて御

意を得ます、拙者は小笠原の家來宮本武藏何卒御手柔かに御指南に預りたく　兼「之は申遲れました手前は浪人吉岡又三郎兼房と申す者、何分御手柔に……」双方共知らん振をして居る、之は昨夜逢つた事はお互に言ひません、伴兵藏柏木半助の兩人は天狗待ての事を言ひやアしないかと思つてビク／＼して居る、宮本は兩刀といふ事を知つて居るから不破伴左衛門が大小二振の木劍を取出して渡しましたが兼房は何を用ゐるか分らんから　伴「兼房、御進は何を用ゐさつしやるか　兼「されば拙者は得物は別に要りません　伴「要りませんといつて得物がなければ立合は出來まい　兼「拙者は木紺屋の型付職人、篦を打落し／＼して自然に覺ゑました劍術、得物を執つて習ひ覺ゑました劍術ではござらんに依つて木劍竹刀の類は用ゐる術を知りません、使ひ慣れました栁篦、一尺三寸の竹篦を持つてお對手をいたします」といつたが之は吉岡が少し癪に障つたから高言を揚つたのだ、何も此處で紺屋の職人だ何だ彼だと言はなくつても宜いのだが取扱ひが粗末だからグッと癪に障つて今に見ろ宮本を打込んで見せるからといふ腹があるから一尺三寸の栁篦を持つて對手をするといつた、宮本も之を聞いて兼房の高言聞捨し、幼年より自得したる神免二刀流十字の劍を持つて吉岡を取押へて呉れようと考へましたから支度をいたし袴鉢巻、袴の股立を取つて庭前へ出る、吉岡も鉢巻襷十字に綾なし、懐中から取出しましたのは鐺金木綿の袋に入つて居る一尺三寸の竹篦、革で鍔を作らへて柄へは木綿の裂を捲いて三味線の糸でキリ／＼捲いてある、至つて粗末な得物だ、其を取つて進み互ひに一禮を交してサッと跡へ退がりヤッといつて身構へる、宮本は左に一尺八寸の小劍、右に二尺三寸の木劍を取つて二本作ら前へ突出して陰曲に構へる、吉岡は竹篦を右の方へブラ下げて突立つたまゝ、一向體を固めない、四方明放しでボンヤリ立つて居ります、大内記殿初め一同、吉岡といふ男は不思議な事をする男だ、少しも體を固めないが宮本はどうするかと見て居ると宮本は陰曲に構へヂリ／＼と前へ進んで往く、吉岡は宮本の木劍の先を見ながら自動きもせず突立つて居る、宮本はヂリ／＼と進んで往つたが敵の體が變らんから暫らく立止つて樣子を見て居る、半刻ばかりといふもの立止つて白眼合つて居るから一同驚いた　○「ドウしたんだい宮本は　△「左樣さ立止つてしまつた　○「氣のない立合だな吉岡もまた熾だせ、白痴が腹を下したやうに突立つた切りだ　△「陽氣が寒くなつたから固まつたかな」寒天だと思つて居る、其中宮本は二本の木劍を二つに開いたかと思ふと左劍を中段に取り、右劍を振上げて活殺に構へた、敵の構へが變化する途端に吉岡件の竹篦を取つてピタリと中段に付け、大眼を開いて宮本をハッタと白眼んだ、其變化の速やかなるは目にも及ばん位ゐ並居る人々もいつ吉岡の構へが變つたか知るものはない、宮本劍下に吉岡の體を見れば僅か一尺餘の竹篦の蔭に吉岡の身體を隱むばかり、不思議なる所の技倆かな、天下三名人の一人といへるも理りなりと考へ、暫らくは敵の樣子を見詰めて居りましたが、徒らに時刻を移しても詮なし、運命を天に任せ、勝負を一瞬の間に決せんとあつて宮本武藏活殺の構へを亂して左劍右劍を同時に振上げ、やッと一聲叫ぶと等しく、吉岡兼房の頭上を目懸けて打込んだ。

六月六日九星　舊五月六日甲戌　本命八白艮定佛滅

[illegible]

汽車

[illegible]

清酢マルカン印　日本一　創業三百有餘年
各地到る所の酒醤油店に販賣せり
特約店　日本醤油株式會社出張所　京城太平通二丁目　電話二四五番

此品無代　時間正確　實用新案三七三九　進星
●大阪西區北堀江御池通六丁目長尾商店●呉服部では顧客に誠實安價なるを擇み●爲利害を顧ずセル地新柄流行品質優●美高尚一見高價なる舶來品と見分難き●別製品一反只の二圓二十錢同甲二圓●六十錢甲上三圓二十錢尚本年新流行●絽衣セル一反僅か一圓五十錢●其上各一品毎に前記圖の如き十六形時間正確實用新案日光懷中時計及鎖メタル三景品を無代添附すると云ふ新なる方法と品質と良安價と高評實に驚くべき因に本紙愛讀者で望の方は「ハガキ」にて男女年頭を記し同店へ申込めば見計ひ親切に荷造の上代金引換送料負擔にて送附し萬一現品本文に相違する時は無割引他品交換又は送金すると云ふ山なれば安心して注文するを得らるべし

小說　何本何でも揃ふて一番安い　目録無代進呈　大阪同盟館

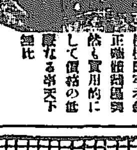
酒煙草きらひになる藥
禁酒丸……禁煙液……酒や煙草の好な人が不思議に心から嫌いになる郵券二錢送れば説明書及大澤博士の禁酒禁煙論進呈
其本舗　大阪市南區　森田商店

小資本にて金儲け現る
新案安錄器械輕便に素人にも出來る活動寫眞の興行が……委細説明書にあり郵券二錢送れ
東京淺草八幡町　振替東京一六六八八　大澤商會

太田胃散　胃病良藥
○飲過ぎ食過ぎに妙なり
壹瓶十四錢廿錢卅錢五十錢一圓
本舗東京兩國　太田信義藥房
▲全國到る處の藥店に販賣す

あざホクロ　ふまづ入墨イボ等の除去
困難の人はハガキにて照會あれ効力實に偉大なる他に類なき良劑を懇切に報す
東京市本所小梅町　平澤藥院

月さらゑに百丸!!!
▲月やく滯りたる人直ぐ試み給ゑ
▲月經不順を…調ね
▲月經不通を…通じ
▲月經困難を…治す
▲實に能く効く…
登録商標
本舗名古屋　小林盛大堂


新調舊アンクル式片側懷中時計
[illegible]
イングレッシー商會　京城本町二丁目　電話九七一番

合資會社　吉川製油所　大阪　名古屋
全コールタール　ホイルド油　カストル油　パクトリユウム　牛脂・ヘット　テレメンテール　諸機械油　其他
アニリンオイル　アニソルド　リンペンソール　全ナフタリン液　クレゾール　石炭酸　鈴印クレオソート油

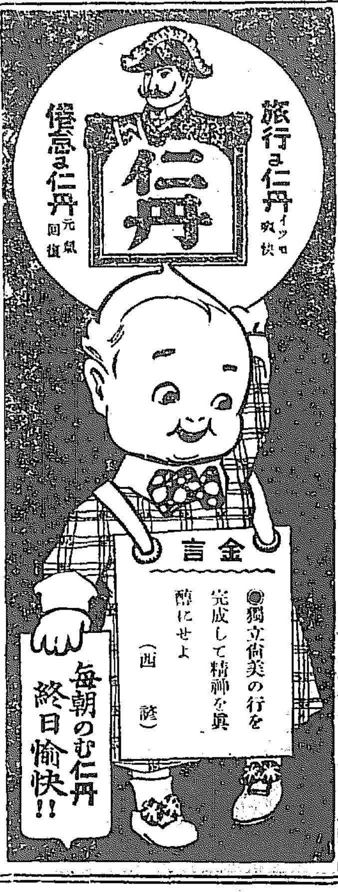
賛化病院　京城本町二丁目　電話二四番
內科　小兒科　入院隨意
每日五名を限り無料施療す
醫學博士　古城憲治
醫學士　[illegible]野亮藏

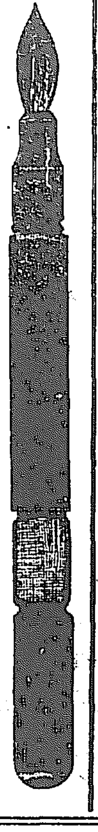
Family Hotel.
本館は市の中央にあり土地高燥、庭内廣く閑靜にして宿泊及び宴會には最も好適す
佛國式料理　宿泊　宴會
京城府大和町三丁目　ファミリーホテル　館主　ミセス、ボーエル　電話一二一八番

文數御通知あれ
ゴム底靴
學生吏員自轉車用旅行運動野球勞働用に適し足痛なく高評各階級に多大也
特價六拾五錢甲七十品
送料共三足以上代金引替不向
五錢郵券代用一割增
包の時は返金す
大阪南區瓦屋町　日野商店

西川のかや
日本橋印
縫目返蚊帳　本濱蚊帳
蒲團　夜具ふとん
ざぶとん
疊表、花莚
モスリン友禪
東京日本橋區
近江屋西川商店
電話本局特長九四八番　振替東京四四九九番
營業の栞御一報次第送呈

最上醤油
特許　機械製　ほまれ味噌
絶對的品質本位
鮮滿釀造界唯一の名譽
於始政五年記念物產共進會
金牌受領
釀造元　仁川港
日本醤油株式會社　電話七五一番　振替京城一七一四番
京城出張所　電話二四五番　振替京城五二三番


旅行に仁丹　一粒快
健忘に仁丹　元氣回復
金言
●獨立衛美の行を完成して精神を奥醇にせよ（西諺）
每朝のむ仁丹　終日愉快!!

萬年筆

新案特許三六二九八號
▲六月十五日迄　特價六十四錢　替穂金八錢
京城日報社代理部

懷中要藥
清心丹は旅行携帶藥として缺ぐ可からざる良藥にして汽車汽船のゑひを快よくすること妙
清心丹は高尚なる香氣を含み口熱惡臭を排し咽喉を潤し音聲を清朗ならしむる特効有を以て發聲家其他交際場裡の必携劑也
清心丹は遠足之際口に含みて走るときは息切することなし
清心丹は風土變り水あたり等の恐れあるときは時々二三粒づゝ用ゆれば其患ひなからしむ
清心丹は過酒過食之停滯を解し消化を良好ならしむること妙
清心丹は暑さ寒さあたりにて下痢腹には三十粒乃至四十粒を噛み碎き三四回用ゆれば必ず奇効あり
清心丹は傳染病流行地に於ては常に二三粒噛碎用て大に豫防す
清心丹は人魚の商標と高木與兵衛の名儀へ御注意之上御求を乞ふ
清心丹は定價金一圓(箱入)五十錢(箱入)卅錢十五錢(錫入)廿錢十錢五錢(紙包)の七種あり
清心丹は製造本舗は東京市日本橋區元大阪町八番地にして取次は全國到る所の有名藥店にて販賣す

何人でも一度御試飮あれば必ず……一生涯御常用になるは
美味滋養　蜂印香竄葡萄酒　の生命と眞價なり——!
凡そ常用者の忘るべからざる欣快は
■每朝の一杯は……精神を爽にし元氣を增す
■每晚の一杯は……疲勞を慰め睡眠を助く
斯くしてますく健康の人となる!!

東京日本橋本町　近藤利兵衛

京城日報

第三版

五日朝刊（夕刊と合せて八頁）

發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

京城日報　朝鮮の化學工業

朝鮮の產業が、長足の進步をなしつゝあるは、何人も之を認むる所ならんも、工業の未だ幼稚なる域を脫せざるは、何人も常に之を遺憾とする所なるべし。夥多の日用工業品の大部分は、內地或は外國よりの輸移入に仰ぎ居れり、而も其等の原料中には、朝鮮產のもの甚だ多し、されば朝鮮は工業製品の原料を他に送り、之が加工品を、更らに高價に、供給を受けつゝある有樣なるが、之れ洵に思はざるの甚だ敷ものたり。當局にても、既に玆に留意する所ありて、曩に工業教育調查會を創設し、大に工業の發達を計らんとす、好望なりと云ふべし。

朝鮮に於ける工業、單に化學工業に見るも、其の事業の前途頗る有望なるもの甚だ多し。人或は問はん、朝鮮に於ける化學工業としては、如何なるものを以て適切となすや、且つ其の原料等の上に於て、萬遺憾なきやと。吾人は此の質問に對し、然り、朝鮮は寧ろ、化學工業の原料地なり、と答ふるに躊躇せざる也。試に吾人が調查し得たる所のみにても、差し當り目下の朝鮮に於て、殆ど廢物同樣の取扱を受けつゝある、諸種の品物中よりも、之に適當に化學的加工を施せば、立派なる製品を得て、而も之が有望なる事業たるもの、却々少々に非ざる也。今其の二三實例を示さんに、彼の醫藥の材料たる蓖麻子油の如き、內地にては、我藥局法に適合するもののなきを以て、總て之を外國よりの輸入に仰ぎつゝあり、而も朝鮮に於ては、其の原料多く、精品を得るに容易なり。又た荏胡麻油の如きは、原料を輸移出して、吾人は其の製品を得つゝあり。而して其用途の最も廣大なる棉油の如きは、棉花栽培の增進と共に、將來甚大なる製產を得べく、當局の計畫によれば、棉花栽培は、近く十二萬町步の作付を見るに至るべしと、果して然る時は、極內輪に見積るも、棉油丈けに於て、優に年百萬圓の收入を得べし。又た六千哩の海岸線を有する、朝鮮海は各種の海獸、魚族を以て滿たされ、魚油製造上より見るも、其の原料は、實に無盡藏の觀あり。而も是[illegible]總て內地に運び去られつゝ[illegible]魚油の如きは、其の販路は、[illegible]地のみならず、遠く海外に求めて、頗る有望なるは疑を容れざる所なり。這は唯、脂油工業の一例を示せしに過ぎざるも、詳細に之を調查すれば、朝鮮に於ける化學工業が、如何に前途有望なるかを、吾人は斷言するに躊躇せざる也。今や歐洲戰局の影響を受けて、外國品の輸移入は減少し、一方輸出の增加を來し、內地に於ては各種工業の勃興を見るに、朝鮮に於ては、之等有望事業のあるに拘らず、空しく委棄して敢て顧る人なきは、所謂寶の持ち腐りにあらずして何ぞや。

內地臺灣所觀

漢城銀行專務　韓相龍

三、臺灣の風俗人情

臺灣人の祖先は對岸廈門、福州、廣東方面より移住せしもの多きを以て、其言語の異なると共に風俗人情より年中行事の如きも、移住者の地方に依り其色彩を別にせり。然れども此等は齊しく支那儒教の感化深きを以て、冠婚葬祭の如きは比較的多額の費用を投じ、頗る鄭重を極め、主に孔子孟子を初め關羽張飛を崇敬せり。下層社會に至りては、多くは怪力亂神を信じ、祈禱呪術に賴りて判斷を待つの弊風あり。村落に祀れる淫祠多きは如何に迷信の深きかを窺ふに足らん。

男女の風俗は、都會地に在りては多少內地の趣味に同化せられたるもの多きも、地方村落に至れば今尙男子は辮髮を垂れ、女子は纏足なる爲め足をなし、家事の炊爨に從事し、從順を以て婦德の第一義とせりと謂ふ。唯廣東婦人は纏足の陋俗なきを以て、跣足にて甲斐々々敷、耕作に從事し、或は男子に伍して貨物の運搬トロの後押等に勞働するもの多し。近來纏足の弊風は新教育の普及と共に漸次撲滅の傾向を生じたるは欣ぶべき現象なりとす。是れ蓋し當局者の鋭意矯風の効果なりとす。男女共一體に早婚の風あるは我が朝鮮に類似せり。未だ垂髫の幼時より早くも許嫁を結び（中流以下に於て所謂財產結婚の弊風多く、結納の多寡を以て結婚を左右せんとするの傾向あり）男女七歲不同席の教を墨守する樣なるも、我が朝鮮內外房の如き嚴格なる設備なし。臺灣婦人は概して化粧に思を凝らすの風ありて、假令卑賤の身も結髮の亂れたるが如き不行儀のものを見ず、而して老嫗の如きも赤色燃するが如き花簪を翳し居るは、我等鳥渡異樣の觀ありき。又南部地方の男女は好んで檳榔樹の實と石灰とを混和せしものを嚙む爲、齒唇赤黑色を呈せり。聞く所に依れば一種の淸涼劑により、又齒の健康上特効ありとし、著しく彼等の嗜むものなりと。福建省方面の移住者は商機に敏なると性質も溫順なるも、廣東人種に至ては個儻不羈の風ありて、結社集團の氣に富み、多少頑固なる爲往々福建廣東の人種互に調和を缺くことあるも、勤儉力行なるは吾人の感歎する所なり。

要するに都會と村落とは文化の程度懸隔せるを以て、風俗人情の如きも自然相異なるものあるは無理ならざる次第なるも、臺灣總督府所在の臺北や地方廳所在地の如きは、內地人との接觸頻繁なると共に同化の著しきものあり（臺北の辜顯榮李延禧の如き、大稻埕の館阿斗の如きは一見して內地人と異なるものなし）領臺以來既に二十年の星霜を經過せし今日なるを以て、新教育を受けたるもの多く、此等は內地語を流暢に談じ、及び衣食住迄內地化したるは、吾人が豫想外に其進化の迅速なるに一驚を喫せし所なり。唯地方村落にありては、今猶因襲の久しき、容易に風習を革むるに及ばざるも、由來易風移俗は施政家の一考を要すべきことならんか。

時局と教訓（一）

大戰と經濟問題（上）

比公の著眼―出稼の失敗―海軍擴張―國防分擔金―情勢判斷の錯誤―露獨の比較

法學博士子爵　田尻稻次郎氏
―東京國防義會にて―

此人口の增殖を如何にす可き乎

戰爭は國民の生活問題から起る。獨逸が戰爭を起したのも矢張り獨逸民族が今のまゝでは生活しきれなくなつたからである。獨逸は國の廣さ二十萬八千英方里、日本は朝鮮樺太を入れると廿六萬英方里であるから日本より狹い、其狹いところに六千八百萬人生活して居る。これではやり切れない。英國の如きは本國こそ十二萬英方里のところへ四千八百萬人の人口があるけれど、領土を合せれば千二百萬英方里となり、露西亞は八百萬英方里で西比利亞だけでも四百六十萬英方里あつて歐羅巴より廣いのに千萬人足らずの人が住んでるばかり、佛蘭西はアルゼリアに幾何でも植民し得る餘地がある。そこで獨り獨逸だけに何にも無い。

此の年々殖ゑて行く人口を如何にすべきかといふところに著眼したのは流石に比馬公であつて、彼は盛んに國民の米國に出稼に行くのを奬勵した。所が、これは獨逸で立派に出來上つた人間が米國へ行つて、其所に土著するといふ結果になり、計算をして見ると十億圓許獨逸の損になつたので、これではいけないと殖民地を探し出した。

獨逸帝國泰平四十年の御土產

然しながら既に遲い。良いところは大概英國がとつて了つてゐる。亞弗利加の南方の殖民地の如きは本國から七千哩も隔つて居り、且つこれに行くには赤道直下の航海をしなければならぬ。あまり好もしいところではない。しかし何處かに國民の捌け口を見出さなくちやならぬ。そこで海軍擴張の必要を感じて來た。獨逸帝國泰平四十年の御土產は何かと言へば海軍擴張のためにした一九一〇年の十億馬克の增税である。けれども、墺土と結んで小亞細亞よりユーフラチス、チグリスの平野に出でバクダット鐵道まで獨逸の勢力を進展させようとの野心を藏するに及んでこの增税だけでは足らなくなつた。即ち、一九一三年に、這度は增税といふ形式でなく國防分擔金といふ名目で、三年間に十億馬克の軍備金を造ることになつた。一九一〇年の增税には驚かなかつた列國も此國防分擔金には驚いた。そして用心をし出した。それを見て獨逸は、寧ろ列國の備なきに乘ず可しとして起つて今度の戰爭を始めた。けれども、獨逸の政治家軍人の情勢の判斷に誤があつたために、戰爭は必ずしも獨逸が期待した如く發展せずして今に及んでゐる。

一に人二に金三に準備

戰爭の勝敗を決する原因は三つある。一は人、二は金、三は準備であるが、獨逸が今回の戰爭で勝つてゐるのは準備であつて、人も金も聯合國の敵ではない。人即ち戰鬪員の數に於ては獨逸は露西亞一國に及ばない。獨逸は十三人の中より壯丁を二人選拔して漸く千萬人の戰鬪員を得るのであるが、露西亞は一九一三年の統計で一億七千四百十萬人の人口の中二千萬人は壯丁である。それから金に至つては到底英佛に及ばない。英國の海外投資額は四百億圓であつて其利子のみで二十億圓の收入があり、船舶保險銀行等の收入が十六億圓入つて來る。佛國は外國の有價證券のみの所有額百六十億圓に達してゐるのに對して、獨逸の海外放資は八十億圓、その內、四十億圓は海外に在る獨逸人の事業資金だから外國の有價證券は四十億圓だけである。此數字を見ると勝敗の決は大抵分つてゐる。自ら然らざるを得ない所以のものがある。

巴爾幹の新形勢

帝都より申上候

○巴爾幹に對しては初めより軍事外交の一致を缺ぎたる聯合國側は最近勃牙利軍の希臘侵入に依りて再び獨墺に機先を制せられ士氣沮喪せるは殘念千萬に候

○現在巴爾幹半島に於ける聯合側の勢力として認めらるゝは希臘の南方サロニカ港の一角に多少の兵力を有するも地形は單に臨海口たるに止まり云はゞ中原の大勢を制するに足らず其の兵力は以て半島を捲席するに足らず從つて同地に堅固なる陣地を構築し消極的守勢を取る外なく加ふるに目下英佛本國より援兵を出すは一寸不可能の狀態に候

○之に反し獨墺側は曩にアルバニヤに塞爾維軍を擊破して以來全般の行動を勃國に委し獨墺軍は監督の地位に立ち其兵力は擧げて本國に引上げたる程の大膽なる措置に出で候是れ畢竟聯合側の何等爲すなきを見縊りたる結果に外ならず候

○斯る形勢の下に勃軍は更に一大飛躍を試み巴爾幹‖即ち希臘‖に於ける英佛の勢力を驅逐せんと欲し新に二萬五千の兵力を以て‖ルペルより國境を越えストルマ、コルチの入口なる希臘の要塞を陷れデミルヒッサル停車場を占領し希臘國に侵入し長驅サロニカの聯合軍を脅し候

○希臘の國論は依然同盟と協商の兩派に分れ國王は國論の歸趨を定むる能はず敵味方國內に相半し加ふるに其兵は嚴正なる意味に於て中立を維持する能はず恰も日露戰爭に於ける支那の如く滿洲‖即ちサロニカ附近‖を兩軍の戰場に供し彼等の馬蹄に蹂躪せらるゝ外なき實情に候

○此時コルフ島に遁れたる塞軍が陣容を新にしてサロニカの英佛軍に來援したる爲め聯合側は稍々生氣を恢復したるも敗殘の塞兵武器輜重に於て缺如せるは分明にして餘り新勢力を加へたりとは見る可らず候

○兎に角巴爾幹は聯合側に取りて鬼門に候左りとて之を成行に放任すれば英佛の勢力は事實に於て巴爾幹に蹤影を止めざるべく與國の一大蹉跌を要し候（一日）

日報歌壇

□日誌の中より　三村秋月

泥臭き沼に心のうちもだすかはたれ頃のわが愁ひかも
若草を蹴りつゝゆけば野は最中今し心にかゝはりはなし
仰向きて陽を吸ふ男あまりにもひすごゝろ春といひ嘲ちぬる
柳館四月の宵をふるへつゝはてなき愁ひ呼びかへすてふ
無花樹の陰ふかぶかくしとまして愁うみゆく春月夜かも
耕せし畑に立てればほんのりと土のにほひす春のかはたれ

□夕月　鈴木吉稲子

夕月に潤ひぞや花の香にかろき病も嬉しかりけり
平らなる路行くごとに倦みはてぬとわがこゝろいふ安からぬかな

日報俳壇

雉子郎選

霞

波濤霞む島に生れて女かな　梧黄子
鼓樓まで市塲溢れて霞かな　同
樂人を乘せて豪奢や江の霞　同
旅鞄鞍擦れ鳴るや山霞む　同
割れし山の赤き地肌や江の霞　山民
野霞や子等が出し後掃きて縫ふ　同
釣春や人下ろされて霞み居る　東村
寺索めて深山杉なる霞かな　同
子泣かねば子守唄はず霞の戶　潮外星
嫁入荷の紋霞み行く野道哉　同
驛亭の左右野原なる霞かな　義明
岩鹽の多き溪流や霞む　盧中子
鎚のゆるみて搖れる橋霞む　竹水
滿蒙の砂塵霞と見る日かな　田打夫
炊ぐ舟に灯一つ生きぬ夕霞　星村
埋築の工日々に成る霞かな　靑眼子
獮馬の機嫌斜や原霞む　和京
霞む灯を見て町戀ふ鐘樓守　雉子郎
遲れては進みては霞む友舟よ　同
霞む入日見る樹の袖や獨り言　同
海女と生れ海女と老ゆらん浦霞　同

蜂

土を這ふ蜂に強風やまぬ哉　義明
熊蜂や何か甜め居る樫の瘤　同
庭買って半ば掘りし樹蜂飛べり　秋汀
溫泉に近く土地買って蜂飼ひ兒　靑眼子

閑話

…の千五十年祭[illegible]が五十[illegible]大阪西區江戶堀[illegible]で行はれた祭主は業平五十[illegible]代の後裔[illegible]と
▲參詣者が恐れ入つた▲世界最大の飛行機目下米國サンニヒルで建造[illegible]飛行に好成績を得た上は太平洋横斷に使用する筈だ▲陸形の不合格者[illegible]かなかつた▲珍芬漢の博士論文[illegible]新博士が續々出來たので論文さへ出[illegible]電話機を發明したとか數字の四は零に等しと斷定を下して理學博士[illegible]を調べると明治卅九年一月二日とせ[illegible]な人間は居ないとの返事だから戶籍[illegible]が餘り長なので其筋では極力取調[illegible]

日本魂（ニホンコン）

慨世憂國の大雜誌創刊號　本日發賣
▲口繪　神武天皇御東征の圖（津端道彥畫伯外二種）
◎日本魂の使命……社長　後藤武夫
▲日本民族精神の尊重……文學博士　井上哲次郎
◎日本の國民性……貴族院議員　仲小路廉
▲慨す可き現社會……陸軍大將　大島久直
◎新時代の孝道と日本魂……文學博士　澤柳政太郎
▲病める山縣元帥……華實界の某名士執筆
■懸賞金參百八拾圓の脚本募集
◎私立大學の解剖　其一
▲楠公正成と日本魂　其一
◎歷史小說　楠正成……（講談）塚原澁柿園
▲勅使大原重德……伊藤痴遊
◎日本魂と女性……靖國神社宮司　賀茂百樹
▲以死可貫至誠……貴族院議員　江木千之
◎帝國海軍の將來……海軍大學校長　佐藤鐵太郎
▲世界的大日本魂……子爵　清浦奎吾
◎皇室中心主義……國民新聞社長　德富猪一郎
▲工業建國の時機……高等工業學校長　手島精一
◎人口減少防止急務……衛生局長　中川望
▲毎月一回發行　定價貳拾錢　郵税一錢五厘　一年同二圓拾錢　全國書店販賣　東京京橋三十間堀三　日本魂社

和漢珍書　法帖繪畫
古書籍目錄　無代進呈
新古和漢圖書賣買並に出版　東京市神田錦町一　松山堂書店　圖書目錄送料四錢要

太陽　六月號
■世界に於ける日本の地位……浮田博士
△露國の將來……長瀨鳳輔
■隈伯の財政金融政策……堀江博士
△伊太利と日本の移民問題……蜷川博士
■政界の表裏……無名隱士夜話
△工場法の精神及實施に就て……岡實
■對支貿易現狀論……佐藤博士
△支那雜觀……安田秀夫
■日本は支那の動亂を傍觀すべきや……副島博士
■支那の現狀と日本
■啓蒙とは何ぞや……桑木博士
△少數の專橫（臺灣印象記）……神戶博士
■一人の女の手帳……與謝野晶子
△タゴールの生活と思想……吉田絃二郎
■文士美術家の生活……內田魯庵
△死期に近ける公娼制度……安部磯雄
■運命に就ての雜感……武者小路實篤
△母心（エレン、ケイ）……平塚雷鳥
■落日後（長篇小說）……小川未明
六月號　定價三十五錢（郵税三錢）
東京本町　博文館　振替二〇四番

實地踏查　世界之寶庫　南洋の富源　附 最近渡航案內
農商務省技師　野間譽雄閣　淸水保之先生著
中版上製美本　寫眞版入　定價金七拾錢　送料金八錢
天惠無盡の富を藏する南洋幾千の群島は端なく吾人の手に落ちたり。世界の寶庫を開くべき鍵は日本の大和民族に委せられたり。抑々南洋の富とは何ぞ。曰く眞珠、椰子、瑇瑁、護謨、鼈甲、珊瑚、燐礦等。本書は即ち此等物產の產地採集產額土地情況等を詳說し其他あらゆる現狀を網羅す。且渡航上の要件案內をも示したるもの、苟もこの富を開發し天與の惠を享受せんと欲するものは先づ本書を讀まざるべからず。
東京日本橋本銀町　發行　文正堂　振替東京二二五〇八

新日本　六月號　新支那號
舊支那より新支那を觀る……大隈伯爵
新支那の政治組織を論ず
大木伯爵、副島博士、仲小路廉、吉野博士、稲本日南、浮田博士、寺尾博士、玉孟倫氏等八大家八色の觀察各獨特の見を披瀝し論斷一切、刻下萬人必讀の大文字
■非舅姑別居論……永井柳太郎
■今日の世界
■足（小說）……加藤
■狸の腹鼓……中村
■支那今後の企業
■獨逸大使館の秘密
○何の爲の革命ぞや……戴天仇
○支那の婦人性……白魚
○戰前の支那商業上に於ける獨逸の地位……上海領事　有吉明
▽獨逸人の交換停止と其影響
▽製鐵事業を第一とす……山岡順太郎
▽滿洲には工業が有望……志村源太郎
工場主幷職工諸君に……岡實
戰後は意外に好景氣
ヴェルダン戰の推移……松井少將
帝都私娼撲滅の斷行……丸山警視
戰爭成金傳……北京浪人
國民文化の自覺とは……木下杢太郎
定價　五十五錢

赤門印　人參規那鐵葡萄酒
貧血、衰弱、病後、婦人病等に最適の飲料　是非御召しあがれ
大阪道修町　小西商店洋酒部　各地有名なる藥店洋酒店にあり

滿蒙處分論　定價金一圓
京城日報代理部

新刊書御案內
鑛產物工業分析法　船木寶三　三八〇
タングステンとモリブデン　六〇
探鑛設計　內田鍵五郎　一七〇
電氣工業力學　建築書院　一五〇
中等化學通解　師引純二郎　八〇
織物製造法　八木靜一郎　一四〇
南洋の實況　保坂彥太郎　四五〇
國際經濟論　服部文四郎　一七〇
最新實業出案　非關十二郎　一五〇
英雄史談　七田萬年　二〇
近世支那十講　稲葉君山　一五〇
實驗食療法　食療研究會　一〇〇
販賣員と販賣術　佐藤信太郎　八五
容易にできる化學百戲　益川衛平　四〇
和歌入門　佐々木信綱　五五
英譯其面影　長谷川二葉亭　九〇
獨學自在勉強仕方　奧村二郎　八五
うた姿（歌集）　矢野峰人　一五〇
實際養蜂　諏訪未吉　一三〇
子供を健全に育てる法　伊藤富子　六五
俳席便覽　俳通　杵小波　一五〇
春浪快著集　一三〇
京城本町　大阪屋號書店　電話一〇八六　振替京城一五七三番

○英獨大海戰後報 英國海軍の勝利

▲獨驅逐艦十隻徐行 リンヘーゲン來電に曰く、獨逸驅逐艦十隻リットルベルト(丁抹沖)を南方に向て徐行せるを見る、其の內一隻は非常の損傷を蒙り居りて他の驅逐艦に曳かれ行きたり(神戶特電)

▲獨逸大艦損失の是認 倫敦來電に曰く、伯林より達したる無線電信に據れば獨逸海軍省はドードノート級の戰鬪艦ウエストファレン(一萬八千六百噸一千九百九年建造速力二十節)の損失を是認し居れり(紐育電報)

▲英海兵溺死者四千 英國海軍省の公表する所に據れば三十一日丁抹沖に於ける英獨大海戰に於て今までに判明せる英國海軍の損害は溺死者四千名にして其の內にはフッド及びアルビユーウスノット兩少將を含めり(桑港電報)

▲英國海軍省發表 英國海軍省の發表に據ればビーチ提督の率ゆる優勢なる戰鬪巡洋艦を以て成る英國艦隊は敵の主力艦隊を突破切斷せんとして猛進し其の艦隊の獨力を以て敵と鬪かふ事數時間に鰲てゼリコウ提督の率ゆる主力艦隊到著し敵の弩級戰艦二隻を擊沈したるため敵は遂に已むなく遁逃したり英國側は水雷艇及び巡洋艦を併せて十五隻を失へり(桑港電報)

○ミューズ左右の激戰 ヴエルダン全線=砲戰激烈

ヴエルダン全線に亙り最も激烈なる砲戰ありミューズ右方に於てはシアウモン畑地よりダムルーブに至る全線に於て夜に亙り最も頑強なる戰鬪を繼續せりシアウモン、ドーモン地方に於ける敵の攻擊は總て擊退せらるドーモン南方に於て獨軍はカイレッテ森林の北部に侵入しヴオウ、ダムルーブ地方の敵襲は總て擊退せられたりミューズ左方に於ては我軍はコウレッテ森林南方の敵軍聯絡壕にて百米突を前進せり(倫敦電報)

○北京軍隊給料

三十一日拱衛軍は全部現金、其他の北京及び南苑にある軍隊步軍統領巡警兵卒には現金八分紙幣二分の割合士官には全部紙幣にて給料を支給したり(北京特電)

○モリソン一行

支那政治顧問モリソン氏及び夫人一行四日大阪著同夜東京に向ふ(大阪特電)

○タ氏東上

タゴール氏は五日朝東京に向ふ筈(大阪特電)

◎滿洲南洋貿易

滿洲と南洋との貿易は大連港を介して一時好況に向ひしが歐洲戰爭以來船腹の不足と之れに伴ふ運賃騰貴のため輸出不引合となり關東州廳を初め石炭、大豆、豆粕等何れも殆ど輸出中止の狀態を呈し滿南貿易は目下休止の有樣なるが關東都督府にては戰後平時狀態に復するを待つて豫ての調査計畫に基き滿洲南洋間貿易の回復及び發展を實にすべく現に野波囑託を印度、南洋方面に派遣し經濟調査を爲さしめつゝあり又既に和蘭政廳との間に交涉成立せし州廳取引は既に鑛業會社より年一千萬斤供給のことに約束整ひ居るも過は初步の試驗的に過ぎずして戰後再び貿易の可能を見るに至らば一層その販路を擴張し石炭大豆其他特產物の輸出を獎勵し而して其の戾り荷には砂糖、棉花等を積載輸入せしむる筈にて之が爲には都督府において充分保護獎勵をなす方針なりと(大連)

◎鑛業藥品暴落 但前途は混沌

鑛業上に缺ぐべからざる生產加里及び水銀等の藥品は內地に於て其の良品の製出不可能の爲め從來專ら▲英國より供給を受けゐたるたる戰亂以來水銀の如き軍用品として需用激增し加ふるに英國の本邦輸出殆んど禁止されたる而已ならず藥品界の波瀾に伴ひ在庫品を有する商人も盛んに思惑を續くる等の理由により今春以來非常の昂騰を告げ爲めに鮮內小鑛業者は甚大の打擊を受け中には作業休止の止むを得ざるものさへ生じたる位なりしが最近英國より相當手續きを爲し母國に輸入するものあり又▲藥品熱の昂下に比例し此處一月未滿の間に甚しき值下りを見昨今の相場は水銀七十五磅入り一箱二百十圓にて四月の取引值に比し約半額となり生產加里は二十日前迄百十二磅入り一箱百八十圓を唱へしを激落の結果百圓臺を割るに至り結局鑛業家の利益少なからざるもさりとて此の下落は普通藥品と異なり內地製品續出等の關係にあらざるに付前途の騰落は尙ほ豫見し難しと

◎京畿道の蠶況 成績頗る良好

京畿道管內に於ける蠶況は各地共去月下旬に至り兩三日間降雨に遭ひ天候稍不順となり時恰も蠶兒發育の初期に在りし爲め養蠶家一般に危惧措かざる所なりしも幸ひ爾來天候の快晴に連れ發育上差したる障害もなく極めて順調に入り昨今は總じて三眠期にありて成績頗る良好を示し管內蠶種掃立枚數も二割强增加しあるを以て昨年春蠶額四千八百石なるに比し實に五千八百石以上の收繭を得るに至るべし殊に橫濱絲價好況にあると共に長野縣群馬縣等主要なる產繭地に於ける霜害及び蠶害の結果より推し益々朝鮮繭に對し需要殷賑の途を拔き且つ鮮內養蠶家に採りも多幸なる歲稍と云ふを得べし

◎朝郵營業狀況

朝鮮郵船會社の各航路營業狀況は引續き下の關浦鹽間の航路乃ち北鮮方面に於て貨客共に盛況を呈し全般より觀て四月は前年に比し約三割五月亦二割弱の增收あり唯朝鮮方面殊に多島海航路は依然不振なりと

◎生牛輸移出高 昨年二萬五千頭

大正四年中に於ける生牛輸移出額は總計二萬四千六百十九頭、此價額七十萬九百二十三圓にして之れを前年中の輸移出頭數二萬二千八百十九頭に比すれば一千八百頭を增せるも輸移出價額八十一萬五千五百四十八圓に比すれば十一萬四千六百二十五圓の減退を見たり、而して之を輸移出地別に示せば最も多きは內地にして一萬一千三百三十二頭之れに亞ぐは支那方面にして二千八百十一頭を算し、露國は最も僅少にて百三十八頭なるが支那方面への輸出は國境より搬出され概ね此處を經由露領に至るものなり

◎茁聖兩港衰運 全羅北道茁浦

法聖浦の兩港は全北平野の一部を背後に控へ居る爲め從來物貨の吞吐旅客の往來少なからず朝郵社船の如きも同方面にて中位を保つ寄港地なりしも何分港內遠淺にして船付惡く場合によりては干潟地を約一里も徒涉し漸く艀舟に乘り移る等の不便あり然も此の兩年內に湖南線の南北に全通し亦背後の道路漸く整備し來りし爲め貨客共に陸運に依り前記の兩港は殆んど顧みざる有樣にて近來甚しく衰微を來しつゝありと

◎平壤商議員候補

平壤商業會議所評議員選擧は六月十二日を以て擧行せらる可く昨今候補者の顏觸漸く鮮明となり已に本月に入りて候補運動の下相談各所に行はれたるもの、如く今日までの顏觸如左

(內地人)宮川五郎三郎、板倉猪太郎、山根政治、川西良次郎、淀本武雄、小柳辰次郎、森本義衛、竹中佐次郎、松本哲、村井正明、中平新藏、中田吉太郎、新野松次郎、大橋恒藏、奧田延之助、遠藤忠次郎、山村寧、富山智一、小川甲子彥、濱田讓次郎、淺海新太郎、上谷榮藏、桑田新助、瀧川直太郎以上二十八名

(朝鮮人)尹觀鎬、蔡元錫、李奎燮、金龍元、鄭錫祜、吳龍錫、金佐植、李基龍、金鎭觀、朴初錫、金麗根、韓鎭植、金志殊、車允成、盧九佐一郎、(漢城銀行支店)、中田宗久男(平安農工銀行)以上八名

▲有資格者 平壤商議會員資格は府稅業稅年額十圓以上を納むる者とし己に會員名簿の作成に著手せるが其數三百二十七名にして此內百圓以上の納稅者は內地人二十二名朝鮮人四名なり而して其人名左の如し

板倉猪太郎、伊藤佐七、林長太郎、平壤電氣會社、平壤魚市店、奧田延之助、河合兵衛、中村精七郎、桑田信助、山根政治、磯田又兵衛、江口卯三郎、寺島彌太郎、新井藏、淺海久太郎、中田吉太郎、間遊、宮川五郎三郎、百三十銀行支店、平安農工銀行支店、共益社、漢城銀行支店、金龍謨

因に內地評議員定數は十六人朝鮮人定數は八人なりとす

◎宇垣少將入京

參謀本部第一部長陸軍少將宇垣一成氏は參謀演習の爲め滿洲へ旅行中なりしが課本部第一部長坂部將校、高橋捨次郎の三將校を隨へ四日午後七時三十分南大門著京義線列車にて入京巴城館に投宿せるが二泊の上六日退京す可しと

◎廣江氏の催宴

廣江商會主廣江澤次郎氏は曩きに其の紙卷煙草製造及び販賣の權利を東亞會社に讓渡したるが此程東亞との間に權義の引繼略々終了したるを以て四日午前十一時より南山麓千開閣に於て盛大なる園遊會を催し松永京畿道長官、古海警務總長、小松翰長、水越鮮銀理事其他官民約二百名參會し園遊一座の落語あり正午開閣屋三階に開宴、其間京券新券の餘興手踊數番あり宴央ばにして廣江氏は一場の挨拶を述べ今や朝鮮に於て製煙業を廢するも廣江商會は他の業務を執りて京城に活動し而して自身は京城を本據として今後支那に於て東亞會社の一員たるか或は其の別働隊となりて層一層の活躍をなすべきを宣言し之れに對し松永長官の謝辭、小松翰長の祝詞、大垣京通社長の乾杯辭ありて西村一銀支店長の發聲にて萬歲を三唱し撒宴後前庭に撮影を行ひ主客十二分の歡を盡して午後四時散會せり

◎獻金率先者

明治神宮奉贊會獻金醵集に對し京城市內釘本藤次郎、牧山耕藏の兩氏は率先して金一百圓づゝの獻金を京城府委員金谷府尹へ申込みたりと

◎地方法院出張所

土地調査完了の暁にて各道共土地登記事務を取扱ふ地方法院出張所を續々設けつゝあるが京城地方法院にては本年度に入り一箇所を既設し既に十二箇所を有し更に年內に尙四五箇所を增設すべしと

春川槎中より

六月二日 勝村生

青嵐二十二里翠の帳を張りたる並木と漢江上流の溪谷とを自動車は約六時間にて只今春川に著し候。春川は道廳所在地十三箇所中最も寂しき處と聞き及び候らいしが成程其通りに御坐候。而しながら此の小さく穢なき貧乏人の子供の如き部落も今や其の居穢なき眠より醒めて俄かに裝ひを凝らし急に成長せんものと努力致し居る模樣がよく目に著き申候。道路は下水工事の爲めに掘鑿せられ其の兩側には幾個もの新らしき家屋が建ち並び居り候、春川は現在戶數六百、人口內地人千二百朝鮮人二千人有之候、尙每日、京城方面より新らしき居住者が入込み居候、著後直ちに道廳を訪問致し候、春川には目下の處特に產物と申すべき物無く道としては現今の木炭製造の外に養蠶、林業、畜牛等大に將來を期して發達を計り居る由に御座候、杉本事務官の好意にて牛頭山に素盞雄尊の遺跡を訪ね途中鳳儀山麓、照陽亭の景を賞し候、牛頭山上には素盞雄尊の御陵と稱する處有之候、山頂よりは、所謂春川平原を一眸裡に集め得べく、此の平野の耕地約二千町步漢江華川江とを左右に廻らし乍ら川底低く舊來灌漑の便を缺ぎたるが兩三年前より華川江の水を導きて此の平野に灌ぐ計畫福豊社の手に由つて經營せられ既に七分通の竣工を見るに至り候、工費の十八萬圓は凡て福豐社にて負擔し其代り水田は地主五分五厘福豐社四分五厘の割合にて分割致す由、其の所有地半を割きても尙且つ水田たらしめんと希望する此の山間の民が如何に水稻に憧憬し居るかを窺ひ得られ申候、穰なたる麥穗の中に落つる夕陽を浴びて旅館鎮野に歸り、夜は通信員金谷君販賣の桑本君等と夜を語り更かし申候明三日は午前中に出發歸京仕るべく候、春川の途中十五里の並木、七里の山峽とは實に春川の生命と存じ候。建設の新たなる芽よ健全に成育し、發達せよと春川の爲に禱りて眠りに就き申候以上

人事消息

▲武居綱藏氏(大邱醫院長) 四日夜入京不知火旅館へ
▲吉田茂氏(安東領事) 四日夜入京朝鮮ホテルへ
▲高橋克親氏(釜山起業會社長) 四日夜釜山へ
▲平田篤次郎氏(三井物產重役) 同上
▲杉原作一郎氏(安東縣醫院長) 四日夜入京天眞樓へ
▲高木豊勝氏(理學士) 同上
▲松井房次郎氏(全北第二部長) 母堂逝去の報に接し四日夜內地へ
▲水谷平吉氏(平壤鑛業所長) 四日夜入京[illegible]尾へ
▲外波內藏吉氏(山林課長) 同上
▲服部直彥氏 ▲龍淵直晴氏 ▲高橋捨四郎氏(宇垣少將隨員) 四日夜入京巴城館へ
▲前田[illegible]氏(文學博士) 三日午後釜山發內地へ
▲和田彥次郎氏(貴族院議員) 同上
▲石渡敏一氏(同) 同上

南言北語

英獨の海戰は思つたよりも大分激かつたらしい▲陸で強い獨逸も海では散々な目に遭つて大損害を蒙つて居る▲之れで獨逸海軍は最う大抵參つて仕舞たらう▲ヴエルダンは取れず海軍は滅茶々々にやられたから獨逸では媾和の聲が益々高くなる譯だ▲が、滅多に油斷すると直ぐ尻の毛迄引拔く先生方だから協商側では何うして少しも浮々して居られない▲空氣から窒素、其窒素を以て硝石、木纖維から綿、其の綿で綿火藥、豆から脂、其脂で高等爆藥、屑から澱粉、其澱粉で人造燕麥と獨逸は先へ〳〵と發明して行くから脈の上り方も存外遲い▲而し人工受胎法によつてもヒンデンブルグやマッケンゼンの卵は出來ないから結局散々になつてお陀佛▲血へどを吐く迄叩き付けて置て媾和を聞かねば後々が氣遣はれる▲米國の大統領選擧運動は最う却々盛になつて來て居る▲殊に振つたのは婦人選擧權同盟會では今期の大統領選擧は必ず婦人を選出する事に決し▲市俄古で其の豫選會を開く相な▲女の大統領なんて此奴は面白い一寸當選させて見たいものだ野次も之れ位になれば一枚上だ▲大隈伯が八十の高齡で一時間乃至二時間のノベツ幕なしの演說には大抵の者が驚く▲何うしてアヽ氣力が衰へないのだらう聊か不可思議であるんである▲所が其れは彼のへの字に口を結んだ時下ツ腹に力を入れて腹式呼吸法を演說中幾千回もやる▲だから勢力の衰へる心配はないと▲而も其れが特にやるのではなく無意識の中にチャーンと出來るからだとナール程

廣江兄の滿蒙發展を祝す

龍馬千里朔天を指すや靑嵐 岳陽
薰風や滿蒙翔る燕 阜天
樓亭に白日のうたげ靑嵐 目池

◎財界たより

[illegible]大阪商船の[illegible]の株主を有し海運界の爆發敗[illegible]船成金の續出と共に同社の株を買[illegible]

▲佐賀紡績經過 佐賀市長野[illegible]て富士紡績會社專務和田豊治氏に面[illegible]關係あるのみな[illegible]く[illegible]に至るべし[illegible]

▲日糖增資變更 同社にては[illegible]

◎釜山水產水揚概況 釜山水產會社魚市五月中水揚高は三萬[illegible]ち二千百零一圓餘、[illegible]一千百[illegible]二圓餘、其他ふりの九百圓餘、いか入[illegible]ひらめ、あぢの前年より割合水揚多かりし結果に依れども日本さばは水[illegible]

[illegible]し炊事場より出刃庖丁を持ち來りて[illegible]夫に庖丁を取り上げられて[illegible]

講習員募集 ▼無比の特長
◎現代實用的學科のみ選擇教授す ◎講師は各專門知名の學士博士廿名 ◎靑年の成功に必要なる大家の講話 ◎中等程度で說明最も懇切總カナ附 ◎講義字引附で何人も意義を解し得 ◎今日學んで今日役立つ活きた學問 ◎學費は無比の低廉で短期に卒業す ◎カード式で餘暇の研究に最も便利 ◎懸賞試驗獎學資金提供の特典あり ◎卒業後の就職と諸物品の廉價購買

新式 一ヶ年卒業 校則見本無代進呈 早速ハガキで申込め

講習學科 國語、實用作文、習字、數學、珠算、產業地理、英語、應用理化、商品學、商事要項、簿記、憲法、民法、商法、政治、經濟、農業、工業、實業講話、產業一斑、處世要訣、家政學

實業講義

◎今は裝飾的の學問では立身出來ず ◎現代は實際に役立つ人のみ歡迎す ◎實用的學識は社會活動の武器なり ◎實力手腕ある人は生活難を感ぜず ◎靑年時代に學ばねば終生の落伍者 ◎今が研究の好機會此時を逃す勿れ ◎同じ研究するなら活きた學問せよ ◎一字一句成功の要素たるは本講義 ◎何よりも證據先づ見本で眞價を知れ ◎此際入學者は諸種の大特典を與ふ

東京市赤坂檜町坂上 大日本實業通信學校 電話芝三五五〇 振替東京一〇九〇二番

◎永井荷風著 新刊出來 夢の女 「夢の女」は眠さめざる女の一生を深刻に描寫したる長篇小說なり。その複雜にして變轉極りなき結構中、洲崎の遊廓に於ける女主人公が賤業の呻吟を描き出せる部分の如きは、幾多小說中稀に見る筆致にして、淪落の慘たる境涯、坐ろに讀者を戰慄せしむ 定價七拾錢 四六判天金布裝

地獄の花 「地獄の花」は人類の曲げ難き動物的本能と、習慣情實等に依りて作られたる宗教道德との痛ましき戰ひを結構とした長篇小說にして、暗黑なる幾多の慾情、腕力、暴行等の事實を忌憚なく活寫す。見よ著者獨特の熱烈犀利なる觀察と其大膽にして徹底せる主張とを 定價七拾錢 四六判天金布裝

大阪屋號書店 東京・京城

實業之日本

成金物語 戰爭成金の情勢と暴富金獲得ならむ波瀾窮りなく榮華盛くるを知らず經濟の原理が如何に活用されたるか人間の弱點が如何に赤裸々たるか

社會 階級の調和 新渡戶博士

大商人の訓練 森村市左衛門 堀川生

人造肥料の事業と人物

靑年必讀 靑年世に出づる準備 增田社長
各會社に採用される靑年 各會社の重役諸氏
現代靑年處世十訓(三) 浮田博士
學校卒業生の小資本實驗 明治屋 小山氏
十二萬圓の利益ある實業家 天成の才人倉知鐵吉氏
臺灣富源如斯多し 村井吉兵衛
最新ラヂウム療法の効能 梅雨季の衛生法 稻田博士
稻田重利用法
立志美談 燐寸王 八代傳つた由緒ある家も忽ち破滅若夫婦は手に手を取つて悲憤落淚之が動機となつて捲土重來大奮鬪

六月一日發行 三十錢 東京日本橋 實業之日本社(振替東京三二六番)

男女 會員大募集 銀行會社事務員養成講義錄 此際入會者には就職希望者は直に申込めば銀行會社に就職紹介其他種々なる大特典あり ◎內容見本二錢封入申込め 學期六ヶ月一ヶ月四十錢 東京京橋區三十間堀一の三 銀行會社事務員養成所

移轉ト電話開通
移轉場所 太平通貳丁目五拾八番地ノ貳
長距離電話 一〇二八番
廣江商會假事務所

…三百萬圓を算するに至り増配運動は…せり現に船舶業橋本謙七郎氏…旗幟漸く鮮明となれり何分一萬以上…び北濱の一派は増配運動怠りなし…て聚に關布長上京大隅伯の紹介に…き由にて半田組行は相當樣式を引受…定し近く總會を開き之を附議すと（大阪支局）
…七十八圓餘…ひ八千五百九十四圓…四分弱…餘、ひらめ四千七百九十三圓餘、あ…割四分を減少し數量の増加は、たひ…

江上に群る遊覽船

＝四日午後の平壤遊覽團＝

江岸通りを織るが如き人車自動車＝牡丹臺に集まる平壤官民數百名＝得月樓上興趣に富める妓生藝妓の歌舞＝盛況盛况平壤稀有の大賑ひ＝夜は絶美なる觀火會＝仕掛花火

平壤遊覽會の四日午後は多數の遊覽者牡丹臺下のお牧の茶屋附近に集合し已に正午過ぎともなれば乙密臺浮碧樓の邊り一面白き人山を築き脚下の大同江上には畫舫を始め夥多の遊覽船の浮ぶなど實に平壤近來の大賑ひを呈せり、斯くて午後三時頃ともなれば

▽遊覽場なるお牧茶屋附近には平壤官民の參集する者數百名工藤長官代理張參與官の日鮮兩語にて試みたる歡迎辭に次いで阿部本社長の團員一同を代表せる謝辭あり斯くて數發の花火を合圖に數多の餘興は古色蒼然たる得月樓上に開始され先づ朝鮮妓生の

▽興多き劍舞に亞いで平壤藝妓の舞踊あり孰れも破るゝが如き喝采なりしが都合により變裝競爭、寶探し等の餘興は五日午前十一時より開始する事とし斯くて午後四時過ぎ一同三々五々歸途に向ひたり、尚ほ此の日

多數の遊覽者は牡丹臺下より平壤江岸まで絡繹長蛇の列を爲し、腕車

▽自動車の織るが如き往來に對し江上には亦遊覽船を流しつゝ江を下るもの相踵ぎ薄暮に至るまで實に平壤稀有の盛況を呈したり、猶ほ本社及び每日申報主催の觀火會は下流秋關附近の船橋里にて夜八時より開始せり對岸には一列數百本の松明を燃やし且つ數組の仕掛花火及び

▽數十發の打揚げ花火試みらるべく亦無數の燈籠流しはその後江上にて試みらるべく斯は平壤の古き行事の復活なりとて見物人多數詰めかけ居れるが甚夜如何の盛況なり猶ほ遊覽團員は四日午後一時三十九分及び五日午前一時三十二分發の列車にて歸京の途に就きたるが又五日午後の列車にて歸る者多數殘り居れり（四日午後八時平壤遊覽團特派員發電）

平壤官民の遊覽團出迎（特派寫眞班撮影）

生蕃物語

＝姦淫罪を犯す者には嚴重の制裁を加へ蕃社外へ追放す＝

土地調査局調理課長　工藤壯平氏談

奇しき掠奪婚の遺風　凡て生蕃は一夫一婦制

猶婚姻の事に就て今少し述べて見るとタイヤル、ツオー、パイワン等には今でも掠奪婚の遺風を存し結婚の約束が整ふと男は夢占に由つて吉日を選び女の家に押掛け女の手を執つて連れ歸らうとすると女を始め其の父母兄弟は

▽之れを拒んで喧嘩の眞似を爲し結局は男が連れ歸るが此の際血を流す樣な事が有ればそれは非常に目出度い事として居る、凡て生蕃は一夫一婦制で且同姓近親とも通婚しないヤミ族は自由結婚を爲すが他は多く双方の父母の許諾を受けなければ嫁娶する事は能きぬ從つて媒酌人を要するツオ、ブヌンは甲の娘が乙の倅に嫁し乙の娘を甲の倅に娶ると云ふ風の

▽交換結婚が多い故に夫婦の年齡が非常に違ふものがある從て中には丁年の男子が生れたばかりの赤兒の女と婚約を結ぶ樣な事も少くない、サイセット族は妻の弟と夫の妹と結婚する風を尊んで居る之れも一種の交換結婚である蕃地に於ては男女間の風儀が至つて宜しい而し稀には姦淫の罪を犯す者もある斯んな場合には直ちに嚴重の制裁を加へて姦夫姦婦を蕃社外に追放する追放されると

▽彼等は保護を失ひ職業を失ひ全く木から落ちた猿同樣であるから彼等の追放を怖れる事は死刑を怖れると同樣である今の熟蕃は多く斯んな風にして追放された蕃人の集團であらうといふ說明を聞いた事もある。妻が妊娠すると非常に妊婦を大切にして或る種族では獸肉や穿山甲等の肉を喰べず夫は物忌みし言動を謹み又妊婦には兇變、悲慘等凡て其の感情を激せしめる樣な事は決して聞かせない。助産は夫又は母が之を爲る

▽子供が生れるこ分娩後直に又は一年後に前に述べた樣な妙な名を父が選んで命ける、人が死ぬとタイヤル、ツオー、ブヌンの諸族では家の中の土間を三四尺の方形に非常に深く掘つて周圍に石を積み遺骸を納め其の上に石を敷ふて埋めるパイワン族の一部とヤミ族とは野外に一定の墓地を持つて居るヤミのある地方では墓標として種々の樹を植ゑる又

▽死人を葬る際には衣服を著せ生前の遺物を墓の中に一緒に入れてやる風習もあるタイヤル族の或地方には家族が死ぬと其の家を捨て、他の家に移る慣習がある、又死人が有ると家族は家に籠つて哀泣し入浴せず粧せず肉や酒は一切用ひない二週間後に死者の妻、夫又は其の親兄弟等は郊外に出て生きた者を索める如く死者の名を呼んで泣く

▽哀れに優しい習慣がある夫に後れた妻は髪を切つて夫の屍體と共に埋め一二年又は半年間喪に服した後でなければ再嫁する事が能きぬが若しそれ以前に再縁し身裝化粧などをすると世間から嘲笑せられ又は指彈せられるので普通の顏をして世に立つことが出來なく成るといふことだ

●地洋丸審判は本月中旬

香港沖に於て坐礁したる東洋汽船地洋丸に對する海事審判に就ては長野理事官去る四日以來橫濱なる同出張所に於て下級船員を參考人として取調中なりしが遭難當時堀、莊田兩海事部技師現場調査を爲し次で今井香港總領事の調査したる一件書類等全部に就ても既に調査を終りたるを以て去る二十六日同理事官は正式に審判開始の申立てを爲し築地なる同審判所に於て宍戸所長審判長となり高取那倉兩審判官及び長野理事官立會の上審判開始の筈開廷は六月中旬頃なるべし（東京）

●妻を縛り上げて毆る

咸南德源郡北城面野汰里申興大方に同人孫申九甲の妻文松峰が留守居して他は全部野良仕事に出懸けしが同日晝過ぎ一同が遠仕度に歸へり文松峰の調理になる晝食を爲しつゝありしに一同突然腹痛を起し吐瀉すると云ふ騷ぎに色々調べたるに副食物に豚の子のありしを申益讃が發見しては文松峰が一同を殺害する目的にて入れたるものならんと文松峰の實家より實母を伴れ來りて此の旨を告げ目前にて文松峰を荒繩にて縛り上げ軒先きに釣り下げ丸太棒を持つて撲りつけ終に氣絕するに至りし由同地憲兵分遣所にて探知し告發したれば申應讃は懲役四箇月其の他は笞六十度の處分を受けたりと

●山師に欺かる

龍山榮町に住む某會社員福崎某及び洲谷某の兩名は去る四月十三日及び二十日の二回に忠南靑陽郡赤谷面中秧里尹東根（二三）より重石を買入れる相談整ひ鑛石の引渡しを受けざる以前に尹の爲めに金五百八十三圓を詐取され尹東根は之れを携へて逃走したるより被害者は此程所轄靑陽憲兵分遣所に告訴狀を提出したりと

●重石詐欺事件

忠北道丹陽郡大興面末老里所在重石及び水鉛鑛を種に京城藤田組より金七千五百圓を詐取したる支那人周の詐欺事件は目下淸州法院支廳にて審理中の處既に第一回の公判を終へ來る六月三日附帶訴訟たる支拂金取戾殘金二千二百餘圓の請求に關する公判開廷の筈（淸州）

●電車に觸る

去る三十一日午後三時四十分頃釜山東萊間電車第五號が釜山郵便局側を發し東萊に向つて進行中草梁驛附近に於て朝鮮郵船會社人夫府山郡龍洞面里院洞生れの李敬瑞（三二）が痛く酩酊し該線路を橫切らんとせし際誤つて其電車に觸れて引き倒され頭部兩膝右手等に重輕傷を負ひし爲め應急の手當を加へ直に草梁鐵道病院へ擔ぎ込み治療中

●驛夫少女を辱む

數日前慶南馬山公園内にて一小女を捕へ辱めたる男あり馬山署にては極力犯人探索中の處此の醜漢は馬山驛在勤の驛夫手島甚三郎（三〇）と云ふ妻子ある男なる事判明し直に馬山警察署に引致し嚴重取調の結果愈々事實を自白したる爲め兩三日前一件書類と共に馬山支廳檢事局に送致したり因に少女は之が爲め局部に負傷し且つ惡性梅毒に感染したりと

●連絡船遲著

四日夜釜山に入港すべき關釜連絡船櫻丸は同港口五六島附近にて濃霧に閉ぢ込められ碇泊中の處一時半遲れ漸く午後十一時半入港せり（釜山特電）

龍攘虎搏

△京龍對抗庭球戰　△京城倶樂部の勝

庭球仕合（上）京城倶樂部應援團（下）鐵道選手矢野君

京龍對抗庭球仕合、此雌雄の雌決、大いなる謎の解決を見んものと四日午前九時龍山鐵道選手コートに集る人の群は百人二百人三百人時と共に益々殖えて行つたポプラ葉蔭の日ざし涼しい午前十一時四十五分仕合開始以來双方共に鮮戰苦鬪

△最後の勝利が京城庭球倶樂部に歸した四時間後なる午後三時迄、選手も幹部も野次も觀衆も悉く皆へ認めずに汗を浴びて片唾を飲んだ龍攘虎搏、實に近來に無い充實した好仕合で一勝一敗相踵ぎ來る熱球好打に拍手斷間なく赤靑の應援旗翻るにつれ嵐の如く怒濤の如き應援歌は選手の血を湧かし肉を躍らしめた當日、午前九時

△第一回戰劈頭選手として島（一銀）戸ヶ崎（倭城臺倶樂部）中川大場（鐵道）四君の出場した時、場内の觀衆一同は期待の大拍手を以て之を迎へた鐵道組が三對一で敗られた後に顯はれた永田井田の兩選手は曠目された鐵道側隨一の御大、島戸ヶ崎組を三對一で敗走せしめ次いで現はれた中村新澤（東拓）組をゼログームで斃し忽ちにして

△優退第一の名を成すに至つた茲に於て双方共新手を差し代り

宮川（赤十字）　大内（鐵道）
莊子（商店主）　大塚（鐵道）

出場したが宮川莊子兩選手は京城側の副將、須臾にして大内大塚組を三對一で潰走せしめ次で現はれた橋村山田組にゼログームの憂目を見せ京龍相對して優退組を出すに至つた茲に特筆すべきは若泉靑木組（鐵道）此日の善戰である先づ秋山（東拓）篠崎（鮮銀）組に三對一で悲鬪を抱かせ次いで現はれた

△鐵道の驍將組　立見（日之出）熊丸（鮮銀）を散々に苦しませ初めジュースで勝ち次に敗れて三度目に勝ち四回戰ではジュースを繰返す事實に八回危い負け樣で最後の五回目に遂に鉋を脫ぐには脫いだが正に中分無き戰ひ振りで本戰第一の殊勳と稱すべきであろ續いて立見熊丸組は晉田園田組（鐵道）をゼログームで斃し京城側は優退二組を作り稍や攻擊を執るに到つたが中川矢野組は鐵道側

△本日の殿將である頼みの綱である然も流石は闘將忽ちにして金子（東洋協會）米田（京城瓦斯）を三對一で鏖殺し次で現はれた京城方の殿將鈴木（遞信）岡部（商銀）組をゼログームで取つて押わて優退し京龍双方共優退二組宛を出して第一回戰を終り互角の對陣を以て第二回戰に臨む觀衆野次者大いに熱せざるを得んやである

△第二回戰劈頭には各優退組

宮川莊子（京城）　井田永田（龍山）

の好取組あり第一回がジユースを三度、第二回が同じく四度と云ふ惡戰苦鬪で遂に鐵道組はゼログームの敗塵に塗みるの憾に遇ひ殿將中川矢野組を取つて代る最初ゼログームで京城側の勢ひ鋭く見わしも束の間條忽にして三對一の敗に退かさるゝに至り愈々此日此戰の運命を決すべく

立見熊丸（京城）　中川矢野（龍山）

の四勇士相對峙すれば場内肅として殺氣漲溢して

△風滿樓の概あり鐵道側のサーブで初め京城一勝、次に龍山一勝、正に龍虎爭王の觀あり一回一回熱狂的氣分湧き來り三回目にジユースを繰返す事三回にして辛くも京城側に一點の多きを加へ四回にして二番を最後にパームの冠は遂に京城選手の頭上高く捧げらるゝに至つた于時午後正三時、暑熱儀くが如し

讀者文藝（一節には甲十錢の賞券を呈す）

▼一口噺

◎新聞を見て「タングステンの値段が大變下落したね」與太「おやー電燈の値も下だらう」（一等）　龍山　十八公

◎三十日夕刊のちやめ吉作のペコペコ鏡を見たお凸『人が私の鼻は低いつて云ふけれ共やつぱり鏡が惡いんだワ』　龍山　小草

◎朝鮮視察者『人間到る處靑山ありで好い所があるでしよう』在住者『いえ朝鮮は禿山ばかりで……』　金泉　船人

◎四月の暴風渡鮮した與太『朝鮮の櫻は盛りが過いなアー』　南浦　紫峰

謎々『支那の戰爭』　締切三日　發表六日
ハメ物　同四日　同七日
狂歌『撒水』　同五日　同八日
俗謠『雁』　同六日　同九日
川柳『壁』　同七日　同十日
（物は付『朝鮮で見度いもの』は　同八日　同十一日
次回一口噺『朝鮮に關して』　同九日　同十二日

公告

京城地方法院

左ノ不動産ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス
入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

●京城府古市町拾四番地
一木造瓦及釷丹交葺貳階建木家壹棟
此建坪六拾七坪七合參勺
內釷丹葺五拾六坪參合九勺
外二階坪八坪貳合五勺
最低競賣價額金貳百拾八圓也
右競賣申立人　秋吉富太郎
不動產所有者　[illegible]間龜之助
京城府樂園洞百四拾貳番地

●京城府
一垈壹百坪
最低競賣價額金八百圓也
右地上ニ建設
一木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪拾壹坪參合六勺
一同附屬木造瓦葺平家建壹棟
此建坪貳拾四坪九合壹勺
最低競賣價額金貳百貳拾壹圓也
右競賣申立人　朝鮮實業株式會社
不動產所有者　沈相璉
京城府黃金町二丁目貳百五十四番地

●京城府
一垈七拾參坪
最低競賣價額金四百貳拾圓
右地上ニ建設
一木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪貳拾九坪九合壹勺八才
一同附屬木造草葺平家建壹棟
此建坪四坪五合五勺五才
最低競賣價額金八拾參圓五拾錢也
右競賣申立人　戸田長次
不動產所有者　閔泳璘
京城府黃金町壹丁目百八拾番地

●京城府
一垈百貳拾八坪（一）
最低競賣價額金四千四百八拾圓也
右地上ニ建設
一木造瓦葺平家建本家壹棟（二）
此建坪拾六坪貳合七勺
最低競賣價額金壹百七拾六圓也
一同所在木造瓦葺平家建本家壹棟（三）
此建坪拾五坪五勺
最低競賣價額金壹百七拾圓也
一同所在木造瓦葺平家建壹棟（四）
此建坪六坪
最低競賣價額金參拾圓也

●京城府黃金町二丁目百八十壹番地ノ三
一垈四拾五坪（五）
最低競賣價額金九千參百貳拾五圓也
右地上ニ建設
一木造瓦及洋鐵葺平家建木家壹棟（六）
建坪四拾九坪六合四勺
內瓦葺[illegible]
洋鐵葺[illegible]
附屬木造瓦及洋鐵葺平家建壹棟（七）
建坪[illegible]
附屬木造瓦及洋鐵葺平家建壹棟（八）
建坪貳拾七坪八合四勺
內瓦葺拾四坪八合六勺
洋鐵葺貳階建壹棟（九）
外附屬木造瓦葺平家建壹棟（一〇）
建坪參拾八坪八合八勺
附屬木造瓦葺平家建壹棟（壹壹）
建坪五拾四坪四合
附屬木造瓦葺平家建壹棟（壹貳）
建坪七坪貳合六勺
最低競賣價額金貳千參百九拾參圓也
右競賣申立人　東京建物株式會社
不動產所有者　李鳳來
西部面中林泉里一二二

●加平郡
一田參九耕息日
最低競賣價額金九圓也
一同所田壹九日耕
最低競賣價額金參拾七圓也
一同所田壹六日耕
最低競賣價額金貳拾壹圓也
一同所田八日耕
最低競賣價額金貳拾八圓也
一同所田壹字日五息耕
最低競賣價額金參拾八圓也
一同所田河統九戸
最低競賣價額金四拾八圓也
一木造草葺平家拾六間
建坪九坪六合
最低競賣價額金四拾八圓也
右競賣申立人　鄭惠泰
不動產所有者　李元永

●京城府鍾路六丁目百貳拾四番地
一垈四拾六坪
最低競賣價額金壹千八百九拾七圓也

●陽州郡州內面於屯里往字拾七番地
一田參百六拾五坪
最低競賣價額金四拾參圓也
一同所在來字九百拾貳坪
最低競賣價額金九拾四圓也
一同所在來字壹千參百四拾四坪
最低競賣價額金四拾四圓也
一同所在往字七百拾六坪
最低競賣價額金七拾圓也
一同所在往字參百九拾參坪
最低競賣價額金五拾六圓也
一同所在往字四百七拾八坪
最低競賣價額金七拾圓也
一同所在往字六拾參坪
最低競賣價額金五拾九圓也
一同所在秋字千九百參拾八坪
最低競賣價額金八拾圓也
一同所在來字參百參拾九坪
最低競賣價額金九拾九圓也
一同所在來字七百五拾九坪
最低競賣價額金九拾六圓也
一同所在來字七百五拾九坪
最低競賣價額金九圓也
一同所在往字百貳拾四坪
最低競賣價額金貳拾四圓也
一同所在秋字貳百四拾參坪
最低競賣價額金貳拾四圓也
一同所在秋字八百拾參坪
最低競賣價額金貳拾四圓也
一同所在字參百拾六坪
最低競賣價額金七圓也
右競賣申立人　趙[illegible]
不動產所有者　尹炳敏
高陽郡纛島面毛峴里二契七[illegible]

●高陽郡
一統戸四拾五坪參合壹勺
最低競賣價額金參拾六圓也
右地上ニ建設
一木造草葺平家建壹棟四間也
建坪八坪參合四勺
一附屬木造瓦葺平家建四間也
建坪五坪四合
一附屬木造草葺平家貳間也
建坪參坪六合四勺
最低競賣價額金四拾九圓五拾錢也
右競賣申立人　朴稜遠
不動產所有者　吳今[illegible]
以上競賣期日ハ大正五年六月拾日午前拾時トス

●揚州郡榛接面蜂峴里六參ノ壹
一木造瓦葺平家建木家壹棟
此建坪五拾貳坪參合
附屬木造草葺平家建庫倉壹棟
此建坪拾七坪八合
最低競賣價額金貳百四拾壹圓也
右競賣申立人　金舜濟
不動產所有者　李亨根

●揚州郡
一畓七百拾壹坪九合
最低競賣價額金五拾四圓也
一同所上八武百參拾壹坪
最低競賣價額金拾四圓也
一同所畓武八ノ壹
最低競賣價額金拾武圓也
一田六百拾九坪六合武勺五才
最低競賣價額金百參拾圓也
一同所上六千四百八拾四坪七合五勺
最低競賣價額金百參拾圓也
一同所上六千參百九拾四坪九合五勺
最低競賣價額金七拾圓也
右競賣申立人　柳海永
不動產所有者　鄭寅號
京城府林町七拾參番地

●京城府
一垈拾七坪
最低競賣價額金七拾圓也
右地上ニ建設
一木造草葺平家建本家壹棟
此建坪九坪四合
最低競賣價額金四圓也
右競賣申立人　吳壽萬
不動產所有者　嚴昌元

…けたるが立會檢事は之を失當として平壤覆審法院へ控訴したり

…恨に思ひ或る夜夫が熟睡中殺意を起

女鳩

渡邊默禪

『五』ゆれる二階

『ホウ、熊打ちにござらはんのかす何處の山さ行かはつす』
『何處の山に行くといふのか、さ、この先に朝日嶽といふのが有るぢやろう。そこに熊が澤山棲んどるさうぢやないか』
『あゝ有つす。彼の山ならハア熊が名物ちうもんで、どんな年だて一疋や二疋獲れねゐとはないゞだ大井澤の源作なんちう男は、それぱつかり稼業にして、獲れさへすつと此方へ賣りに出て來るがなす、何でも去年打ちとつた子熊の親が一疋居る筈だから、今年は雪のけないうちに、なんたことをしても打止めないでは措かないつて、先刻おたな話をしてゐたつけす』
『なに、源作？大野、お前が紹介するといつた獵夫はそんな名ぢやつたの』
『はい、爾うです』大野は傍で答へて、其男へ走と目を向けた『源作は今此方へ出て來て居りますかね』
『はい、來て居りやんすゝ、先刻此の家さ寄つて、酒い飲んで行つたす。自分の娘が此村の百姓に縁附いてるもんだで、庚申講に招ばれて泊りがけて來たんだとす』
『あゝ爾うか』大野は意外にのちに一つの欣びを得たといつた風に『御前出て來てゐるさうです。此村に親戚があつて、そこへ招待されて來たと言ひます』
『おゝ左樣か、それは好都合ぢや、此の宿へ來て貰う譯にはいかんか』子爵は言つた『いろ〳〵經驗談も聞きたし、又打合せもしたいぢやから、お前、御苦勞ぢやがちよつと呼んで來て呉れんか』
『承知しました、直と參ります』大野はその娘の縁づいた先を聞糺してから、氣輕にぶいと出て去つた。そのうちに座敷の支度が出來たので

釣道具新荷著　投網漁具製造卸商　其他一式　京城永樂町二丁目　監獄署製品販賣所　吉備商會

子爵等三人は子女に導かるゝまゝ、靴を脱いで藁草履を突かけながら、勝手口の階段を上つて二階へ通つた。見ると六疊の座敷が二間續いてゐた、上手についた名ばかりの床の間に月山羽黒山湯殿山といふ三行に書いた麁末な軸が懸つて、飾りに置いた猿の腰かけが怪しげな黑光を放つてゐた、肋骨の露出した襖の上には平仄の逹つた怪な詩がのたくられて、承塵に日露戰爭時代の石版畫が額にされてあるなど、不氣味なことだらしい。給の具のレモンエルローを塗つたやうな色合の古疊には、ところ〲酒を翻した汚痕やら、燒焦やらが斑點をなしてゐた。只嬉しいのは眞中に仕切つた火燵で、蒲團こそ不潔いが温かさうな火氣が春の日影のやうに室内を蒸して、瀬戸火鉢の上に古雅な鐵瓶のちい〳〵と鳴いてゐるのも憎くはない』

藥物を見る眼鏡及マグチツト等　三浦天龍堂眼鏡部　京城本町二電話一〇〇二振替二〇四

『驚きましたなア、これは……』生駒は頭に手をのせて四邊を眴しながら『まるで黴菌の製造所でございと言はないばかりの所です。お二人のお坐りなさる場所もありやあしませんいや、醜い家に引張込んだもので』
『何です、大きな聲をして……階下へ聞ねるぢやありませんか。結構よどんな座敷だつて、沙漠の沃土だわねわお父樣』
鳩子は平氣に火鉢の側に坐つて。柔しい手を翳した。
『むゝ爾うぢやとも、雪にふりとめられて躊躇してゐるよりは、どんなに氣樂だか知れん、アハヽヽ、面白い遺憾なく地方的色彩が出とるわい』
子爵はこんなことを言つて、火燵の中へ無雜作に足を突込んだ。
戸外にはぴゆうと吹雪が吼わる、その度毎に戸も障子もどたんばたんと鳴りはためいて、二階がみし〳〵と揺れる。
『險呑ですなア、こりや』生駒はおつかなさうに首を縮めた。
『生駒、茶代を遣れ、三十錢ぐらゐなら十分ぢやらう』

新刊紹介

▲實業界（六月號）卒先して新領向の報導に努め而も實際的なる商略を教ふるは本誌特有なり實驗に基く通信販賣法必ず讀まれる引札の作り方手紙販賣術を紹介す殊に明しくて商業家の讀む暗示、販賣の及ぼす習慣の力等總て商業家の熟讀すべからざる好文字（二十五錢東京市牛込區早稻田大學前同文館）

▲新日本（六月號）本號は支那に關する特別記事を載す曰く新支那より新支那を觀る大隈伯新支那の政治組織を論ずに就き大木伯は聯邦共和制に革めよと云ひ副島博士は革命をして有意義たらしめよと戒め仲小路廉氏は制度よりも人物が主也と斷じ吉野博士は分裂か統一かと呼び鋼本日南は共和制よりも帝制可なりと主張し添田博士は中央政府の基礎を固めよと敎へ寺尾博士は脱化運動を完成せしめよと論ぜり其他王正論の何處までも戰天仇の何の爲めの革命ぞや白鳥の支那婦人性質の汝薄の新支那の諸嚴有吉明の戰前の支那と戰後に於ける國人の地位及び今後の支那には如何なる企業が適するかに對し山岡順太郎の國際事業の必要志村源太郎の工業殺本一として支那研究の必讀文字たらざるなし其他例月の通り（三十錢東京市神田區富山房）

▲大陸婦人界（一の四）隆盛なる常識の發達は今日の婦人界に特に其の必要を叫ばずんば非ず本誌は克く氏の希望に副ひ毎號の記事總て趣味と實際と修養とに資す本號には牧田社長の在鮮在住の婦人の戒むべき點鎌田貴族院議員の放蕩の身妻賢母主義武藏女子大校長の斬ふした覺悟が欲しい永井早大教授の在鮮婦人の覺醒を促す湯原光一の戀すべき戰時の獨逸婦人等は婦人の覺醒を促す文字たるべく此

▲朝鮮及滿洲（六月號）殖民地には不斷に創設を與ふる心要を要す本誌が常に克く殖民地經營の先覺者とし指導者として重んぜらるゝは故なしとせず……（二十錢京城旭町二朝鮮雜誌社）

▲東洋皮革新誌（二の三六）十錢大阪市西區南堀江二の七七其社
▲大阪朝鮮貿易商報（一四〇）五錢大阪市西區北堀江裏通一の四其社
▲大日本新聞（三〇二）五錢東京市麴町區有樂町一の四其社
▲家庭料理講義錄（五月號）會費月三十五錢東京市本郷區元町一の三東京割烹講習會
▲千代田（八の五）十五錢東京市淺草區吉原町二其社
▲改定古錢價附（增補五版）……
▲東洋時報（二一二）……
▲稅務彙報（一二〇）……
▲女の世界（六月號）……

▲世界公論（六月號）……
▲一大帝國（一の四）……
▲日本之關門（一の五）……
▲新家庭（六月號）……
▲婦人畫報（六月號）……

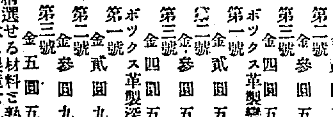
京日案内

普通（一回前金三十錢無割引）（匿名一回毎に金五錢增）
番外（一回前金六十錢無割引）（匿名一回毎に金五錢增）
▼申込後中途撤回中止の節は料金返戻せず

▲普通▲
古本高價買入繁堂の勉強是非御試賣を乞御報即刻參上▲京城本町一丁目　群書堂 341
店員入用年齡十八九歲位市内に保證人を要す本人來談あれ　京城本町一丁目大阪屋號書店 330
病院並地方患家の付添及看護婦派遣に應す　京城櫻井町二ノ一九一　朝鮮看護婦會　電話二五三三番 311
古本高價買入繁堂の勉強是非御試賣を乞御報即刻參上▲京城本町　群書堂　四電話一七八一番 348
貸家　日本建官吏會社員向家賃格安　使用の便あり電話二四三六　井村 488

▲番外▲
高給外事員募集　責任付　京城黄金町三丁目　日本公債株式會社支部 342
貸家　大和町二丁目六十九番地官吏向四間庭園あり　永樂町二の七五　京城十友會社電話六三六番 341
廣橋自働車　南大門通一丁目　京城三丁目十九番　主務　金正淵 322
茶花琴教授　北城大平通一丁目　京城日報社西側　師範 月謝のみにて各教授を受くることを得 327
間合自働車　京城發午前八時　春川發午前九時　京城水標橋通り　電話貳壹參八番　支配人 松田壽男 50
下痢の時季　これからが　赤玉は第一特効藥　京城旭町一　淺野藥天堂 343
礦物定量分析　坂元分析所　京城太平通二ノ一二五　電話一三四番 416
皮膚病花柳病　專門　須古醫院　京城永樂町一商品陳列館坂の上　電話三二〇番 196
魔法瓶中瓶取替　其他色々　ゴム引マント　防水カツパ　京城本町一丁目　高木旅行用具店 345
恩給年金類立替　吉田屋　京城本町二（京城銀行横小路） 347
カシ地　古市町電車通約二百坪　水標橋黄金町筋北へ入　五百坪地料抵廉便宜分割貸　與へ十御相談に應ず　蓬萊町二丁目電話一二三番　川澄 351
獵犬　家庭狩獵上必要なる技藝を御飼料金食費前金一ケ月六圓五十錢敎授者は御報あれ市内は參堂面談可致候　京城岡崎町三七松本獵犬養成所 350

▲廣告▲
胃病新藥　マーゲン　胃病快治法　大阪本町五丁目　山田保藥房　約特店　京城南大門通二新井藥房

店員見習至急入用年拾五六歲迄　夜間商業補習學校へ通學せしむ　仁川山手町二丁目　電話九〇〇番　三共社
富の道しるべ　價十五錢郵稅二錢　山縣五十雄　村上唯吉共著　京城太平通振替三〇〇番　京城日報社代理部
男女簿記生徒募集　銀行會社商店員たらんと欲する者は速に來れ卒業後は確實に就職紹介す規則書要二錢　京城本町三丁目日ノ出小學校下　京城簿記專修館
わきが　にて今迄彼是と藥を用ひ効なき方はフアーザーー藥價三十錢六十錢を一度お使用あれ　御注文は前金の事郵送料不要　京城黄金町三丁目　山田文殊堂藥房
義手足　脊髓矯正器　セルロイド便器　京城本町一丁目五一　高野義一製作所　電話一〇六番
質　京城黄金町二丁目（永樂町停留所北入）堀佐營業所（電話六三九番）
花柳病外科專門　梅毒　睾丸病　痳病　泌尿生殖器病　婦人病　肛門病　皮膚病　六〇六注射　包皮其他手術　每日診察　無料入院隨時　京城南大門通農工銀行裏　司生堂醫院
水銀　新荷著　保稅品有　京城本町二丁目　釘本藤次郎本店　電話四五・二七七四振替京城二五六　信用ある東京三金の特賣
長靴　ボツクス製　長サ一尺三寸金四圓八拾錢　一尺五寸金五圓五拾錢
第一號金貳圓五拾錢　第二號金參圓五拾錢　第三號金四圓五拾錢　ボツクス革製短靴　第一號金貳圓五拾錢　第二號金參圓五拾錢　第三號金四圓五拾錢　ボツクス革製深ゴム　第一號金貳圓九拾錢　第二號金參圓九拾錢　第三號金五圓五拾錢
右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般實用紳士靴として好適なり
▽御注文の節は靴の種類と足袋の文數御通知あれば代金引換小包送料實費にて送附す
最新目錄無代進呈　東京市芝區愛宕下町　三金高等靴店　電話芝六九〇番　振替東京一七一二三番


最上醬油　朝鮮仁川濱　高杉醬油釀造場

大邱浦項間自動車時間
上り　浦項發前一一、〇〇後二、〇〇　……
下り　大邱發前……
電話七番　大塚農場自動車部　電話一一七番　大邱出張所

婦人科　產科　入院分娩應需　京城旭町一丁目　院主　衣笠茂　中央婦人病院（電話二二四〇番）
朝鮮銀行　京城　振替府金口座　京城三三三一番　電話（圖）三三三、六一一、一三〇六、一三六〇、一三六一
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
支店出張所　東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候
日韓書房　新版報告　うた姿　鮎崎英明著　定價一圓五十錢送料十四錢　採鑛設計　内田鉦五郎著　定價一圓十錢送料十四錢　牛　岡本米藏著　第貳拾壹版　定價一圓送料十二錢　故郷他郷　諸川立耳著　定價一圓三十錢送料十二錢　俳通　巖谷小波著　俳席便覽　定價五十錢送料十錢　京城本町二丁目　電話一二二七・振替口座一五五
眼科內科　小兒科　入院隨意　京城黄金町三丁目赤門通（電話二四四三番）　本田醫院　院長　本田建義
金泉醴泉間自動車時間　上り　金泉發前八、三〇……　金泉織居自動車支部　金泉電話四八番

日本郵船仁川出帆　大連、太沽、牛莊行　相模丸　六月七日　正午出帆　高砂丸　六月十五日　正午出帆　三河丸　六月廿四日　正午出帆　仁川海岸町二丁目　電話十一番　堀回漕部

大阪商船仁川出帆　○外航所關航路（海洋航路を除く）御乘船の時は五分引を以て通路切符發賣仕候
○天津丸 六月十二日 ○安東丸 六月十八日 ○群山、木浦、釜山、關門、神戸大阪行 後五時出
○大智丸 六月九日 ○安東丸 六月六日 後二時出
○木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
×信濃川丸 ×信濃川丸 六月十六日 七月 木浦、釜山、厳原、鄉の浦、長崎行 後二時出
○鎭南浦、大連行 ×信濃川丸 六月十一日 ×信濃川丸 六月廿九日 後二時出
○大連直行
○潮州丸 六月八日 △福州丸 六月十八日 正午出帆
△群山、釜山、横濱行 ○潮州丸 六月十三日 ×福州丸 六月廿三日 後二時出
○清津、浦潮行（元山出帆）城津、西湖津ニ寄港浦潮不寄港 ○印度丸 六月八日 △須磨丸 六月十四日 後二時出
▲安平丸 ○上海、芝罘、基隆、打狗行（大連出帆） 湖北丸 六月十七日 基隆丸 六月六日 後四時出
御注意　○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道各社との聯絡切符發賣仕候　○御乘船客は本船出帆約一時間前に御乘込願候　○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
切符發賣所　京城切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二番二二一番　内國通運會社支店　電話七八番
▲中國四國沿岸各港行船客に對し門司迄の切符を以て連絡乘船切符發賣仕候

朝鮮郵船出帆
全羅丸　六月十一日
京畿丸　六月廿一日
成鏡丸　六月五日
黄海丸　六月十五日　釜山發
○門司より釜山各港寄港雄基直航
穩城丸　六月二日
平壤丸　六月十六日
昌城丸　六月　日　元山發
○元山より各港經由雄基行
清津丸　六月十九日
忠平丸　六月十二日　元山發
○城津より清津經由雄基行
永興丸　毎月廿八回　元山發
盛德丸　六月六日　釜山發
江陵丸　毎日　浦項發
三浦丸　六月六日　釜山發
海州丸 統營丸 巨濟丸 慶寶丸　毎日　釜山發
順天丸　三日目毎ニ　木浦發
公州丸　六月十日　木浦發
公州丸　六月十五日　木浦發
慶興丸　六月八日　木浦發
宗信丸　六月十日　仁川發
江原丸　六月六日　仁川發
麗水丸 晉州丸　六月十日 六月五日　仁川發
錦江丸　毎日午前　仁川發
南陽丸
平安丸　六月十二日 六月七日　群山發 若松發
本社　京城南大門通　電話長一九五二番二三一番　京城取次店　松原運送店（電話長一七〇番）

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行　第一共同丸　六月七日　日入港　六月九日　日出港
○大連、芝罘行　第一阪鶴丸　月　日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行　第三共同丸　月　日前八時出
阿波國共同汽船株式會社　本町一丁目電話一〇八番　山下回漕部
仁川代理店　吉田回漕部
元山代理店　京城取次店　河村運送店

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行　立神丸　六月廿三日　後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行　立神丸　六月　日　後十時出帆
○門司、神戸、大阪行　小倉丸　六月　日　後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　六月　日　後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　月　日　後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　六月　日　後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天興丸　毎月二日九日十六日廿三日（十四）午後十時出帆
釜山瀛町　大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○大正丸　六月十三日　午後四時出帆
○大有丸　六月　日　後四時出帆
○神代丸　六月　日　後四時出帆
○秀吉丸　六月九日　後四時出帆
○若代丸　六月　日　後五時出帆
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

世の中

▲原籍不明の壯丁　二十九日[illegible]隊へ[illegible]縣野洲郡達野村澁谷松が神月に出稼中或る女に設けたもの如く [illegible]當年に取た[illegible]といよ同會大[illegible]正若松環行氏で、無中の飛行機は大きさに於て世界一だ [illegible]との[illegible]ある[illegible]を振つた[illegible]となつた[illegible]小倉聯隊區管内の徵兵檢査に不合格[illegible]手[illegible]地村の梅林[illegible]せば誰でも博士になれるものと早合點する中は[illegible]を黒焼にして人間の[illegible]しいとか珍芬漢が[illegible]込ので文部省の[illegible]員は大に閉口して居る▲產まの私生兒として出生屆をしてあるから更にとせに就て調べるとそんな子[illegible]

●汽車に發砲す　東海道[illegible]驛附近に於て二回迄汽車に發砲せ[illegible]